

広島女学院大学大学院言語文化研究科日本語文化専攻

2022 年度修士学位論文

# 感謝表現に関する日中対照研究

—事前感謝を中心に—

G21111yw 王毓敏

指導教員：渡邊ゆかり

2023 年 3 月

目次	
第1章 はじめに	1
第2章 先行研究	2
2.1 詫び表現を感謝表現として用いる理由	2
2.2 心情別に見た感謝表現の形式	2
2.3 日本語学習者の感謝行動	3
2.4 「再感謝」に関する研究	4
2.5 事前感謝に関する研究	5
第3章 研究方法	8
3.1 アンケート調査	8
3.2 フォローアップインタビュー	13
3.3 シミュレーション調査	13
第4章 調査結果	15
4.1 アンケート結果	15
4.1.1 指示	15
4.1.2 指示に近い依頼	22
4.1.3 依頼	25
4.2 フォローアップインタビューの結果	30
4.2.1 フォローアップインタビューの質問1の結果	30
4.2.2 フォローアップインタビューの質問2の結果	31
4.2.3 フォローアップインタビューの質問3の結果	32
4.3 シミュレーション調査の結果	32
4.3.1 場面1の結果	33
4.3.2 場面2の結果	34
4.3.3 場面3の結果	35
第5章 考察	37
5.1 日本語母語話者の回答結果	37
5.2 中国語母語話者の回答結果	38
5.3 日本語母語話者と中国語母語話者の相違	39
5.3.1 発話内行為の影響	39
5.3.2 人間関係の影響	40
5.3.3 事前感謝の役割	40
第6章 おわりに	41
付録	43
参考文献	63

## 第1章 はじめに

日本語の感謝表現に関する研究は近年盛んになっており、中でも日本語の「ありがとう」と「すみません」をめぐる語義解析及び他言語との対照が多くなされている。また、日本語に独特な語用現象の一つとされる再感謝に関する研究もいくつか見られる。しかし、日本語にあまりなじみがない感謝表現、例えば本研究が目にする事前感謝に関する研究は極めて少ない。

英語の場合は、例えばある地下鉄のアナウンスで“Passengers for Shibuya please take Exit 2. Thank you.”といった案内指示がよく聞かれる。また改まった依頼表現のあと“Thank you in advance”や“Thank you for your cooperation”といった事前感謝表現もよく用いられる。

中国語の場合も、例えば“小王，帮我拿一支笔吧，谢谢！”（王さん、ボールペンを取ってくれますか、ありがとう！）のような表現は日常生活でよく用いられる。この「谢谢」は相手がまだ反応してないうちに文の最後に置く言葉で、これも一種の事前感謝と見なせる。また、美術館などを見学する時、“这幅画是不可以拍照的，谢谢！”（すみません、この絵の写真を撮らないでください。どうもありがとうございます！）のような例もよく使われている。

しかし、日本の社会での日本人同士のコミュニケーションでは、上記のような場面で事前感謝表現を用いると不自然になる。例えば日本人が美術館を見学した時に案内係の人が「すみません、この絵の写真を撮らないでください。どうもありがとうございます！」と言うと、日本人の多くは不自然に感じるであろう。では、日本人同士でコミュニケーションをする時に、このような中国式の前感謝表現を用いることは一切ないのだろうか。場面によって日本語母語話者が感じる不自然さの程度に違いはないのだろうか。中国式の前感謝について日本に滞在する中国語母語話者はどのように考えているのだろうか。

このような問いを明らかにするために、本研究は日本在住の日本語母語話者と中国語母語話者を対象としたアンケート調査を行う。その後、それぞれの回答に基づき、中国語母語話者を対象としたフォローアップインタビューと日本語母語話者を対象としたシミュレーション調査を行う。

## 第2章 先行研究

岡本（1991）は、ある会話において話し手が相手のある行為から恩恵や利益をもらった際にそれに対応するために取った言語行動を、感謝表現と定義している（p. 96）。この感謝表現に関しては、感謝の言葉の「ありがとう」と、詫びの形で感謝の気持ちを表す「すみません」に関する研究が盛んに行われてきた。以下、「ありがとう」と「すみません」を中心とした先行研究を紹介し、次に再感謝に関する先行研究を紹介する。

### 2. 1 詫び表現を感謝表現として用いる理由

詫び表現を感謝表現として用いる理由に言及している研究には住田（1990）、熊取谷（1991）、三宅（1993）がある。

まず、住田は、日本人の学生を対象に、感謝表現が使われる時や感謝表現として使われる表現について調査を行った。その結果に基づき「日本語の謝辞には、まず、『ありがとうございます』、『ありがとう』ということばがある（p. 8）」としている。また、日本語における謝辞に感謝表現と詫び表現が存在するのは、実際に何らかの相手からの行為があった場合に、ねぎらいの気持ちがプラスアルファとして、感謝表現に添えられることによると考えている（p. 8）。

次に、熊取谷は「ありがとう」と「すみません」の併用現象及び感謝表現のやり取り構造について考察した。その結果、この二つの言葉は併用だとしても、「すみません」は、以前に迷惑をかけたことに対して相手との人間関係の不均衡を修復するための行為で、「ありがとう」は、感謝のやり取りの終結標識であるとした。

最後に、三宅は、詫び表現が詫び心理以外の場面で使われることについて、「詫び表現の選択には、今まで考えられていたような相手の負担の軽重、自分の利益の大小、借りの有無などが決定要素として関係してはいるが、それよりも重要なものとして、相手が自分の目上であるか、目下であるか、親密な関係であるか疎遠な関係であるかという要素が関係している（pp. 28 - 29）」と述べている。

### 2. 2 心情別に見た感謝表現の形式

秦（2002）は、テレビドラマ、映画の映像資料から収集した感謝表現を心情別に分類した。秦は、感謝の定型表現を以下の六つに分類している（p. 72）。

- a. 感謝の気持そのものの表出：「ありがとう」類、「感謝する」類、「サンキュー」、「どうも」
- b. 申し訳ない気持ちの表出：「すみません」類、「わるい」類、「恐縮」類
- c. 相手への慰労の念の表出：「ご苦労さま」類

- d. 恩を蒙ったことの出出:「恩に着る」類
- e. 面倒をかけたことの出出:「お世話」類
- f. 利益を受けたことの出出:「助かる」類、「お蔭さま」類、「ごちそうさま」類

また、定型以外の出出を以下の七つに分類している (p. 73)。

- a. 直接的な感情の出出:「いやー」「うれしいな」
- b. プラス評価:「さすがー、あなた」「おいしそう」
- c. 負担に関する言及:「これ手に入れるのに大変だったでしょう」「気を使わなくてもいいのに…」
- d. 話し手の利益に関する言及:「やー、なんとか間に合ったよ」
- e. 話し手にとって聞き手(の行為)の必要性・不可欠性の言及:「○○ちゃんいなかったら間に合わなかったよ」
- f. お返しの言及:「近々メシ奢るから」
- g. 言葉にできないことへの言及:「なな、なんていうか…」「なんとお礼を申し上げたら…」

この分類結果からも日本語では「申し訳ない気持の出出」を表す「すみません」類が感謝の場面で用いられることがわかる。

### 2. 3 日本語学習者の感謝行動

日本語学習者の感謝行動に関する研究には日比野・長友(2000)と葉(2017)がある。

日比野・長友は、留学生と日本語母語話者との感謝表現の表し方の違いについて検証した。その結果、日本人は相手にかかる負担が小さいと思われる場面でも、目上、目下に関係なく詫び表現を用いることが多いことを明らかにした。また、留学生は、相手にかかる負担が大きいと思われる場面や、相手が目上の場合には詫び表現を用いるが、それ以外の場面では、感謝表現を使うことが多く、詫び表現は少ないことを明らかにした。さらに、この違いは、おそらく「借り」の意識の強弱によるとしている (p. 148)。

次に、葉は、中国語を母語とする日本語学習者と日本語母語話者に対し、感謝表現に関するアンケートを行い、両者の相異を次のようにまとめた (p. 8)。

1. 学習者は負担度が低い場面、定型表現のみを用い、負担度が高い場面では定型表現と定型以外の出出を併用する。一方、母語話者は場面の負担度にかかわらず定型表現と定型以外の出出を併用する。

(学習者在场面的負担度较低的情况下, 仅只使用感谢的定型表现, 在負担度较高的场面中会同时使用感谢的定型表现和定型以外的表现。而母语话者无论场面負担程度的高低, 都会同时使用感谢的定型表现和定型以外的表现。)

2. 母語話者は場面の負担度にかかわらず、親しくない目上の相手に対して感謝と詫びを同時に表す。学習者は負担度が低い場面、親しくない目上の相手に感謝あるいは詫びを表すが、同時に伝えることはない。

(母语话者不论场面的負担度如何, 对于不太亲近的上级对象会同时表达出谢意和歉意。学习者在场面負担度较低的情况下, 对不太亲近的上级对象表达谢意或者歉意, 但两者不会同时传达。)

## 2. 4 「再感謝」に関する研究

中田 (1989)、施 (2007) は、「再感謝」もしくは「後日の再感謝」の現象は日本語に特有な感謝表現であると述べている。この再感謝の特徴やストラテジーに関する研究には、市原 (2016a)、市原 (2016b)、市原 (2019) がある。

まず、市原 (2016a) は、東京のある大学の日本語を母語とする大学生と大学院生 50 名を対象に、質問紙による選択式調査と自由記述式調査を行った。その結果「後日の再感謝」の機能とは「円滑な人間関係を築こうとしているというコンテクスト化の合図 (p. 8)」であるとした。

次に、市原 (2016b) は、「再感謝」のストラテジーについて日中対照研究を行った。その結果、日本語では、友人同士が後日再会した際にも「以前に受けた恩恵に言及」して感謝を表すこと、再会の場面に限らず相手へ恩恵を与える場面でも「以前に受けた恩恵に言及」して相手に感謝を表すことを示した (p. 27)。

最後に、市原 (2019) は、日本語母語場面、中国語母語場面、中国人学習者と日本語母語話者の日本語接触場面の会話を対象に、「後日の再感謝」の言語行動の有無と談話の特徴を比較し、以下の点を明らかにした。

1. 「発話を行うことが適切かどうかの判断」については、出現率から、後日再会の場面での再感謝は日本語では「適当」と判断され、中国語では適当と判断されるとは限らない。
2. 「文脈的要因の評価」については、日本語では恩恵の内容に関わらず後日に再感謝をすることがほとんどだが、中国語では物質の恩恵については比較的出現率が低く、恩恵の内容によって再感謝するかどうかの評価が異なるという点で先行研究を支持していた。
3. 「コミュニケーション・スタイルの転移」については、初出ターンの比較から、日本語はあいさつが終わってすぐに先日の恩恵について感謝を表明するコミュニケーション・スタイルが慣習的であるが、中国語ではそうとは限らない。

また、日本語母語話者の「後日の再感謝」が「会話のオープナー」の機能であり「円滑な人間関係を築こうとしているというコンテキスト化の合図」であるのに対し、中国語母語話者は必ずしもこのように「コンテキスト化の合図」として話者間でやりとりされていない、という結論も示された。

## 2. 5 事前感謝に関する研究

事前感謝に関する研究は極めて少ない。主なものとしては楊(2004)、谷口(2005)、李(2014)、張(2018)がある。

まず、楊は、「中国語メールでは、依頼の後すぐ感謝の意を表すことがある(p. 107)」とした。また、その理由について「たとえ依頼を承知してもらえないとしても、依頼を聞いてくれるだけで感謝すべきだという考えがあるからではないだろうか(p. 107)」と述べている。

次に、谷口は、談話完成タスクによるデータ、映画・テレビドラマのシナリオや文字起こしを基に、中国語と日本語の感謝表現の使用について考察した。まず、谷口は中道・土井(1995)の分類方法に基づき依頼表現をその義務性によって「指示」、「依頼に近い指示」、「依頼」の三つに分けた。次に、台湾と日本在住の大学生各50名ずつを対象に、この3種類の依頼表現を用いた談話完成タスクを行った。その結果、中国語のデータでは「指示」表現に続く感謝表現の使用が最も多く、「依頼に近い指示」や「依頼」では使用頻度が減少していたことが明らかになった。次の表1は中国語母語話者が行った談話完成タスクの結果である。

表1 データ Aに見られた依頼表現につづく感謝表現の総件数（中国語）

項目	下位分類	項目	件数 /50	例
①	「指示」	タクシーの運転手に行き先を告げる。	21	「台北車站、 <u>謝謝</u> 」（台北駅、ありがとう）
②	「指示」	右に曲がる指示	17	「右轉、 <u>謝謝</u> 」（右に曲がって、ありがとう）
③	「依頼」に近い「指示」	運転手に対して財布を忘れたので、家に戻ってもらう指示をする。	6	「（理由）可以請你載我回家拿嗎？ <u>謝謝</u> 」（家にお金取りに戻ってもいいか、ありがとう）
④	指示	夜市の店でパイヤミルクティーを注文する。	19	「一杯木瓜牛奶、 <u>謝謝</u> 」（一杯のパイヤミルクティー、ありがとう）
⑤	「依頼」に近い「指示」	夜店でコーラをこぼし店員に拭くように頼む。	8	「請幫我擦一下、 <u>謝謝</u> 」（ちょっと、拭いてください。ありがとう）
⑥	「依頼」	親しい友人に授業のノートを借りる。	8	「筆記本、借我、 <u>謝謝</u> 」（ノート貸して。ありがとう）
⑦	「依頼」	大学の後輩にノートを借りる。	9	「可以借我筆記本？ <u>謝謝</u> 啦」（ノートを借りてもいい？ありがとう）
⑧	「依頼」	大学の学長に留学のための推薦状を頼む。	6	「可以麻煩你寫推薦信嗎？ <u>謝謝</u> 」（推薦状書いてもらえますか？ありがとう）
⑨	「依頼」	同じ年代の知らない人に携帯を借りる。	8	「可不可以借行動電話我一下、 <u>謝謝</u> 」（携帯を借りることができますか？ありがとう）

（谷口 2005 の表 1 による）

最後に、李は、日本語の再感謝について考察する中で、談話データから中国語に独特な感謝表現、すなわち事前感謝（先取り感謝）についても簡単に考察した。その結果、「事前感謝はまだ発生していない利益や恩恵が『発生する』と判断して行

う一種の依頼表現である (p. 109) 」と述べている。その特徴としては以下の二つをあげている。

- ① 事前感謝の相手は、一般的に目下の人やサービス業の従業員であること
- ② 依頼の当然性が高いときに事前感謝を使用する

張も、日中の感謝表現を対照する中で、中国語の事前感謝の表現が特有であることを強調して、「そもそもこういった表現は感謝表現においても特別な存在であり、依頼表現の一種に見なせるだろう (p. 92) 」と述べている。

以上、本章では詫び表現を感謝表現として用いる理由、心情別に見た感謝表現の形式、日本語学習者の感謝行動、再感謝に関する研究、事前感謝に関する研究を見てきた。本章で扱う事前感謝については、李が中国社会の中で使用される場面について言及していた。では、この事前感謝は日本社会で一切使われることはないのだろうか。場面によって日本語母語話者が感じる不自然さの程度に違いはないだろうか。中国式の事前感謝について日本に滞在する中国語母語話者はどのように考えているのだろうか。次章ではこれらの問題点を明らかにするために行った本研究の方法について述べる。

## 第3章 研究方法

本研究の目的は第1章で示した問題点を明らかにすることである。

以下、本研究で行ったアンケート調査、フォローアップインタビュー、シミュレーション調査の方法について記述する。

### 3.1 アンケート調査

本アンケートは日本語で事前感謝表現を用いた場合の自然さについて、日本在住の中国語母語話者と日本語母語話者でどのような相違があるかを明らかにすることを目的とした。

アンケートの対象者は日本に在住の中国語母語話者36名と日本語母語話者44名である。

質問項目は谷口（2005）が談話完成タスクで用いた項目を参考に作成した。

本アンケートでは10の依頼場面における3種類の発話の自然さを「自然」「やや不自然」「かなり不自然」のいずれかで答えてもらった。3種類の発話のうち①は依頼内容を告げて終わる言い方である。②は依頼内容を告げたあと依頼を表す定型表現「お願い／お願いします」を付加する言い方である。③は依頼内容を告げたあと感謝を表す定型表現「ありがとう／ありがとうございます」を付加する言い方である。

以下が本アンケートの質問項目である。

1. 次の日本語でのコミュニケーション場面における発話について、「自然」「やや不自然」「かなり不自然」のいずれか1つを選択して○をつけてください。  
[パーティーで友だちにコップが一つ足りないので持って来てくれるよう頼むとき]
  - ① 「悪いけど、コップ一つ持って来てくれる。」（その後、発話権を相手に譲る）
  - ② 「悪いけど、コップ一つ持って来てくれる。お願い。」（その後、発話権を相手に譲る）
  - ③ 「悪いけど、コップ一つ持って来てくれる。ありがとう。」（その後、発話権を相手に譲る）
2. 次の日本語でのコミュニケーション場面における発話について、「自然」「やや不自然」「かなり不自然」のいずれかを選択してください。  
[レストランで店員に皿をもう一つ持って来てくれるよう頼むとき]
  - ① 「すみません。お皿もう一つ。」（その後、発話権を相手に譲る）

- ② 「すみません。お皿もう一つ。お願いします。」(その後、発話権を相手に譲る)
- ③ 「すみません。お皿もう一つ。ありがとうございます。」(その後、発話権を相手に譲る)
3. 次の日本語でのコミュニケーション場面における発話について、「自然」「やや不自然」「かなり不自然」のいずれかを選択してください。  
[タクシーの運転手に行先を告げるとき]
- ① 「〇〇駅まで。」(その後、発話権を相手に譲る)
- ② 「〇〇駅まで。お願いします。」(その後、発話権を相手に譲る)
- ③ 「〇〇駅まで。ありがとうございます。」(その後、発話権を相手に譲る)
4. 次の日本語でのコミュニケーション場面における日本語の発話について、「自然」「やや不自然」「かなり不自然」のいずれかを選択してください。  
[タクシーの運転手に右に曲がってもらおうよう頼むとき]
- ① 「そこを右に曲がってくれますか。」(その後、発話権を相手に譲る)
- ② 「そこを右に曲がってくれますか。お願いします。」(その後、発話権を相手に譲る)
- ③ 「そこを右に曲がってくれますか。ありがとうございます。」(その後、発話権を相手に譲る)
5. 次の日本語でのコミュニケーション場面における発話について、「自然」「やや不自然」「かなり不自然」のいずれかを選択してください。  
[タクシーの運転手に財布を忘れたので家に戻ってもらおうよう頼むとき]
- ① 「あの、財布を忘れたので家に戻ってもらってもいいですか。」(その後、発話権を相手に譲る)
- ② 「あの、財布を忘れたので家に戻ってもらってもいいですか。お願いします。」(その後、発話権を相手に譲る)
- ③ 「あの、財布を忘れたので家に戻ってもらってもいいですか。ありがとうございます。」(その後、発話権を相手に譲る)
6. 次の日本語でのコミュニケーション場面における発話について、「自然」「やや不自然」「かなり不自然」のいずれかを選択してください。  
[屋台でタピオカミルクティーを注文するとき]
- ① 「タピオカミルクティー一つ。」(その後、発話権を相手に譲る)

- ② 「タピオカミルクティー一つ。お願いします。」（その後、発話権を相手に譲る）
- ③ 「タピオカミルクティー一つ。ありがとうございます。」（その後、発話権を相手に譲る）
7. 次の日本語でのコミュニケーション場面における発話について、「自然」「やや不自然」「かなり不自然」のいずれかを選択してください。  
[親しい友達にノートを貸してくれるよう頼むとき]
- ① 「ちょっと、ノート貸してくれる。」（その後、発話権を相手に譲る）
- ② 「ちょっと、ノート貸してくれる。お願い。」（その後、発話権を相手に譲る）
- ③ 「ちょっと、ノート貸してくれる。ありがとう。」（その後、発話権を相手に譲る）
8. 次の日本語でのコミュニケーション場面における発話について、「自然」「やや不自然」「かなり不自然」のいずれかを選択してください。  
[指導教員に留学のための推薦状を書いてもらうように頼むとき]
- ① 「先生、実はアメリカに留学しようと考えていて...お手数おかけしますが、推薦状を書いていただけますか。」（その後、発話権を相手に譲る）
- ② 「先生、実はアメリカに留学しようと考えていて...お手数おかけしますが、推薦状を書いていただけますか。お願いします。」（その後、発話権を相手に譲る）
- ③ 「先生、実はアメリカに留学しようと考えていて...お手数おかけしますが、推薦状を書いていただけますか。ありがとうございます。」（その後、発話権を相手に譲る）
9. 次の日本語でのコミュニケーション場面における発話について、「自然」「やや不自然」「かなり不自然」のいずれかを選択してください。  
[店長に仕事の休みを頼むとき]
- ① 「今度の日曜、用事があって。お休みいただけますか。」（その後、発話権を相手に譲る）
- ② 「今度の日曜、用事があって。お休みいただけますか。お願いします。」（その後、発話権を相手に譲る）
- ③ 「今度の日曜、用事があって。お休みいただけますか。ありがとうございます。」（その後、発話権を相手に譲る）

10. 次の日本語でのコミュニケーション場面における発話について、「自然」「やや不自然」「かなり不自然」のいずれかを選択してください。

[バイト先の店長がバイトの人に残業を頼むとき]

- ① 「悪いんだけど、もう一時間だけ延長してくれるかな。」（その後、発話権を相手に譲る）
- ② 「悪いんだけど、もう一時間だけ延長してくれるかな。お願い。」（その後、発話権を相手に譲る）
- ③ 「悪いんだけど、もう一時間だけ延長してくれるかな。ありがとう。」（その後、発話権を相手に譲る）

中道・土井（1995）は依頼表現をその義務性により「指示」、「依頼に近い指示」、「依頼」の三つに分けたが、この基準に基づけば、これら10の場面のうち1、2、3、4、6は「指示」、5、10は「依頼に近い指示」、7、8、9は「依頼」に該当する。

なお、中国語母語話者に関しては、回答に影響を及ぼす要因を調べるために、日本語のレベル、滞在年数、コミュニケーション・スタイルに関する次の4つの質問項目も設定した。

1. あなたの日本語のレベルを教えてください。

- ① JLPT のN3 合格
- ② JLPT のN2 合格
- ③ JLPT のN1 合格
- ④ JLPT は受けていない

2. あなたは、自分の日本語能力はどのくらいだと思いますか。あてはまるものを選んでください。

- ①初級
- ②中級
- ③上級

3. 日本での滞在歴を教えてください。

- ① 半年未満
- ② 半年以上1年未満
- ③ 1年以上2年未満
- ④ 2年以上3年未満
- ⑤ 3年以上5年未満
- ⑥ 5年以上

4. あなたは日本人と日本語でコミュニケーションをするとき、次の3つのうちのいずれを用いますか。

- ① 日本人のコミュニケーションの方法に合わせる
- ② 中国人のコミュニケーションの方法に合わせる
- ③ 時と場合で日本人のコミュニケーションの方法と中国人のコミュニケーションの方法を使い分ける

1 の結果は以下のとおりである。

JLPT のN1 合格者 27人  
JLPT のN2 合格者 6人  
JLPT は受けていない 3人

2 の結果は以下のとおりである。

上級者 15人  
中級者 19人  
初級者 2人

3 の結果は以下のとおりである。

5年以上 15人、  
3年以上5年未満 10人  
2年以上3年未満 8人  
1年以上2年未満 2人  
半年未満 1人

4 の結果は以下のとおりである。

時と場合で日本人のコミュニケーションの方法と中国人のコミュニケーションの方法を使い分けると回答し者の 28人  
日本人のコミュニケーションの方法に合わせると回答し者の 6人  
中国人のコミュニケーションの方法に合わせると回答し者の 2人

今回の調査の中で、日本語レベルについて、N1 合格者が一番多かった。日本語能力について、自分が中級者と思う人が一番多かった。日本での滞在歴について、5年以上の人が一番多かった。日本人と日本語でコミュニケーションす

る時のスタイルについて、時と場合で日本人のコミュニケーションの方法と中国人のコミュニケーションの方法を使い分けると回答した人が一番多かった。ということが分かった。

### 3. 2 フォローアップインタビュー

本フォローアップインタビューは、「中国式の事前感謝について日本に滞在する中国語母語話者はどのように考えているのだろうか。」という問いを明らかにするために行った。このインタビューの対象者は先のアンケートの質問項目1～10のすべてにおいて、「ありがとう／ありがとうございます」を付加した言い方に対して「やや不自然」もしくは「かなり不自然」と回答した中国語母語話者のうちの6名である。

調査の実施期間は2022年5月25日から2022年6月10日の約2週間である。アンケート実施後2週以内に行った。

本インタビューでは、次の3つの質問を行った。

1. 1～10の③について、「やや不自然」「かなり不自然」を選択した理由を教えてください。
2. 1～10と同様の中国語でのコミュニケーション場面で、依頼の最後に“谢谢”を用いたとしたら自然と感じますか、それとも、不自然と感じますか。自然と感じる場面と自然と感ぜない場面があるときは、その理由も教えてください。
3. 日本語でのコミュニケーション場面について、1～10の③のように、依頼時に、相手の承諾を得る前に、「ありがとう」や「ありがとうございます」を使ったことはありますか。そのとき、日本人はどのような反応でしたか。

### 3. 3 シミュレーション調査

本シミュレーション調査は、「日本人は事前感謝表現を用いることが一切ないのか」「場面によって不自然さの程度に違いはないか」を明らかにするために、日本人に対し、事前感謝の場面を疑似体験してもらい、その後、感想を述べてもらった。

本調査の実施期間は2022年7月28日と10月4日の二日である。広島女学院大学ロゴス館の2F 演習室で行った。参加者は広島女学院大学の日本語母語話者の学生3名であった。参加者に以下の三つの場面を疑似体験してもらった。その際、事前に参加者の許可を得て、参加者の回答を録音し、その後、文字化した。

「場面1」お客さんがタクシーに乗って広島駅に向かっている。

参加者の役割：タクシー運転手

調査者の役割：タクシーのお客さん

参加者に与えられたタスク：次の会話のやりとりに参加する

客：「広島駅までお願いします。」

運転手：「はい、承知しました。」

(途中)

客：「あの、財布を忘れたので家に戻ってもらってもいいですか。ありがとうございます。」

「場面2」アルバイトの店員が仕事を終え帰ろうとしている。

参加者の役割：アルバイトの店員

調査者の役割：店長

参加者に与えられたタスク：次の会話のやりとりに参加する

店員：「では、お先に失礼いたします。」

店長：「〇〇さん、悪いんだけど、もう一時間だけ延長してくれるかな。ありがとう。」

「場面3」友人宅でパーティーをしている。

参加者の役割：友人 A

調査者の役割：友人 B

参加者に与えられたタスク：次の会話のやりとりに参加する

友達 B：「悪いけど、コップ一つ持って来てくれる？ ありがとう」

それぞれのシミュレーションは、事前に場所と参加者の役割を記載したロールカードを参加者に渡してから開始した。

以上が本研究で行った調査方法の概要である。次章では本調査の結果を見ていく。

## 第4章 調査結果

### 4.1 アンケート結果

ここではアンケート調査の結果を示していく。アンケートの回答数は日本語母語話者44名、中国語母語話者36名である。以下、指示、指示に近い依頼、依頼の順に各設問の回答結果について述べる。

その際、図中横軸に記載した「①0」は、依頼内容を表す表現の後に「お願い／願います」「ありがとう／ありがとうございます」などの表現を加えず、そこで終わる形を示すものとする。また、「②お願い類」は、依頼内容を表す表現後に、「お願い／願います」といった依頼を表す定型表現が加わる形を示すものとする。「③ありがとう類」は、依頼内容を表す表現の後に「ありがとう／ありがとうございます」といった感謝の定型表現が加わる形を示すものとする。またさらに、図中のパーセンテージの右の数値は、回答者数を示すものとする。

#### 4.1.1 指示

##### 設問1

まず、設問1の「悪いけど、コップ一つ持って来てくれる。」に続く「①0（何も接続しない）」「②お願い類」「③ありがとう類」の日本語母語話者の結果は、図1のとおりである。

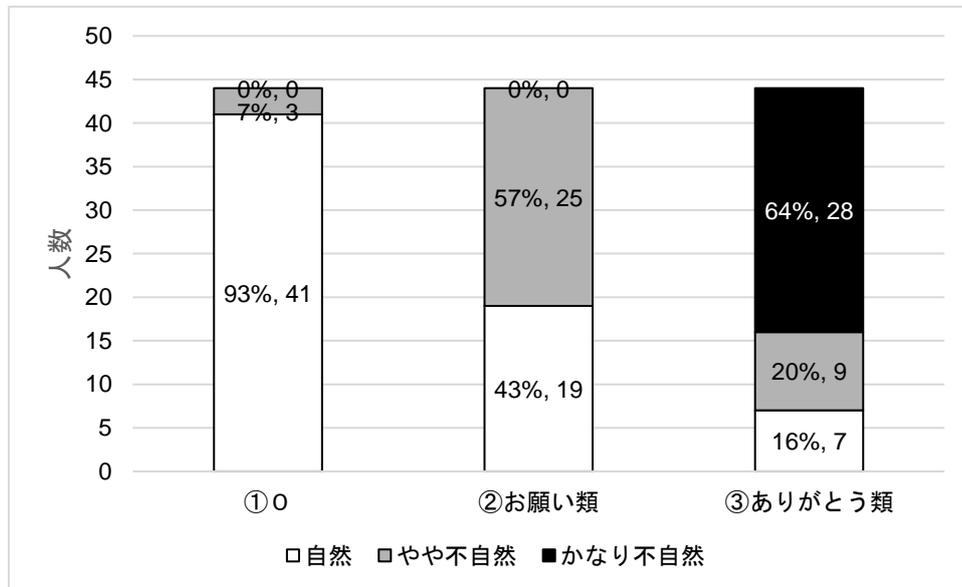


図1 設問1の日本語母語話者の回答

一方、中国語母語話者の結果は、図2のとおりである。

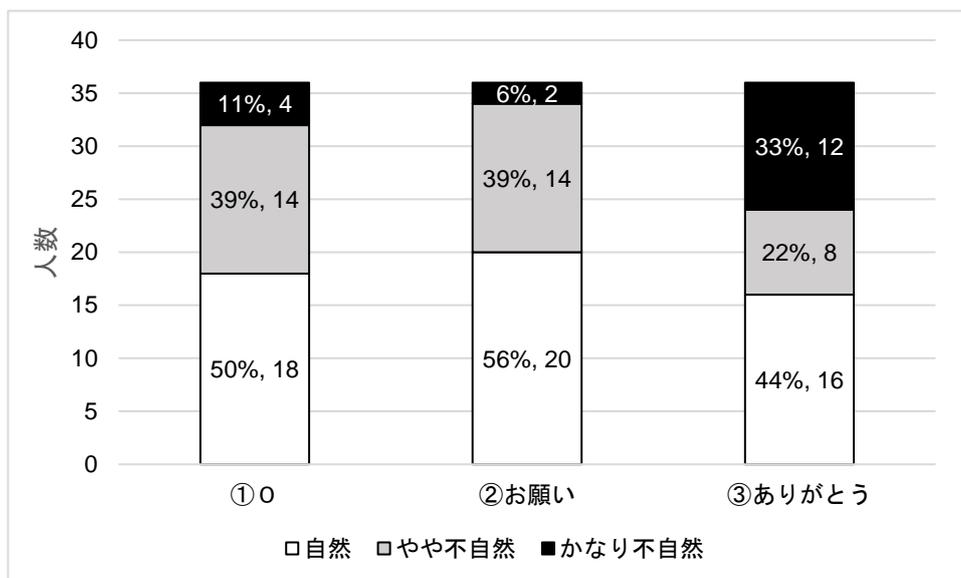


図2 設問1の中国語母語話者の回答

図1のように、日本語母語話者の多くは、「①0（何も接続しない）」を「自然」と回答しており、「②お願い類」を「自然」と回答した人は半数に満たない。「③ありがとう類」については、半数以上が「かなり不自然」と回答している。

一方、中国語母語話者は、図2のように、「①0（何も接続しない）」「②お願い類」「③ありがとう類」のいずれも「自然」と回答した人の数はあまり多くないが「③ありがとう類」を「自然」とする人の割合は、日本語母語話者より高く、28ポイントの開きが存在した。この差について、 $\chi^2$ 検定を行ったところ、有意水準1%未満で有意差が認められた。

## 設問2

次に、設問2の「すみません。お皿をもう一つ。」に続く「①0（何も接続しない）」「②お願い類」「③ありがとう類」の日本語母語話者の結果は、図3のとおりである。

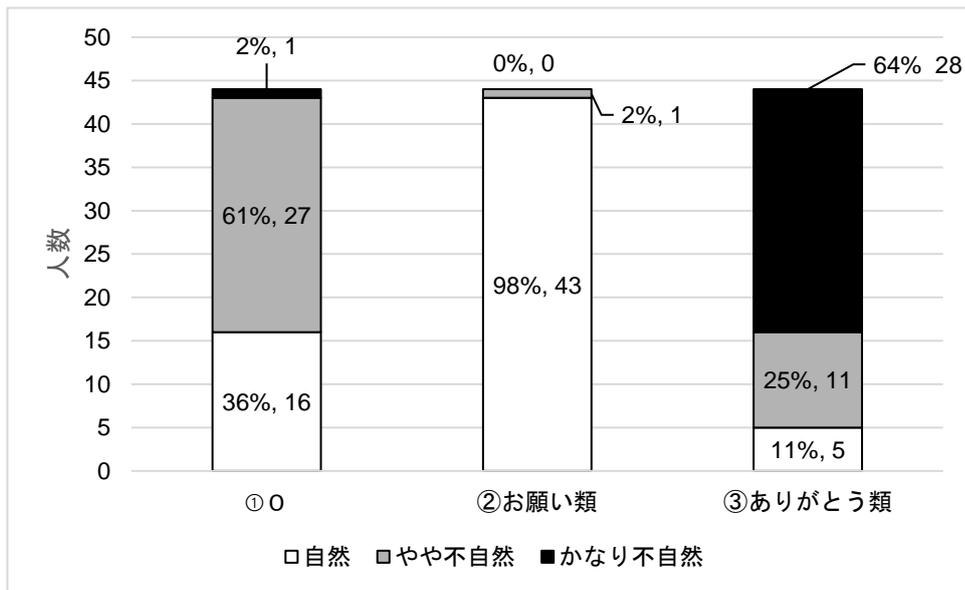


図3 設問2の日本語母語話者の回答

一方、中国語母語話者の結果は、図4のとおりである。

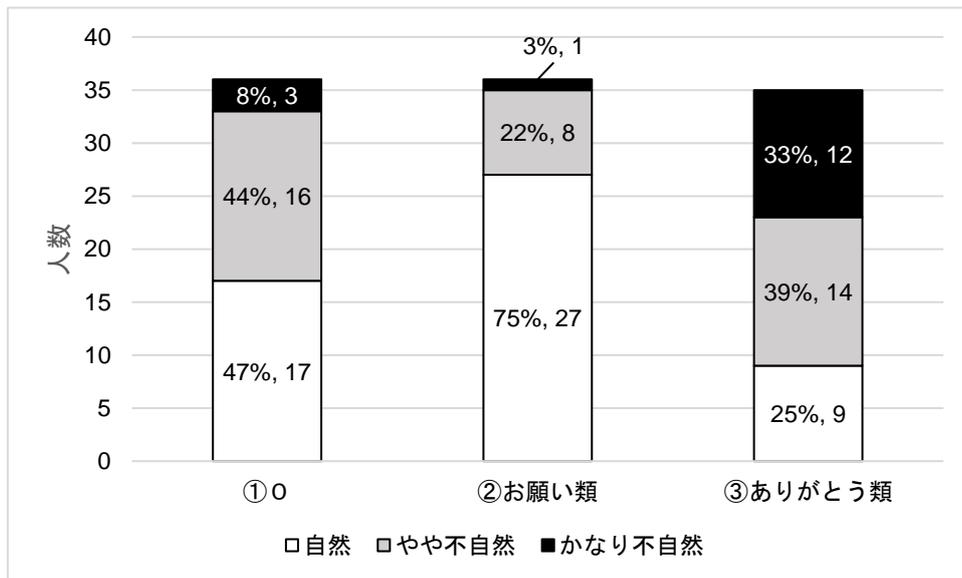


図4 設問2の中国語母語話者の回答

図3のように、日本語母語話者の多くは、「②お願い類」を「自然」と回答しており、ついで「①0（何も接続しない）」「③ありがとう類」と続く。「②お願い類」を「自然」と回答した人は、約98%であり、「①0（何も接続しない）」を「自然」と回答した人は約36%であり、「③ありがとう類」を「自然」と回答した人は約11%に過ぎなかった。

一方、図4のように中国語母語話者の場合、「自然」と回答した人が最も多かったのは「②お願い類」であり、ついで「①0（何も接続しない）」「③ありがとう類」と続く。この点は日本語母語話者と同じであるが、「②お願い類」を「自然」とした人の割合は日本語母語話者よりやや低く、約75%であった。

### 設問3

次に、設問3の「〇〇駅まで。」に続く「①0（何も接続しない）」「②お願い類」「③ありがとう類」の日本語母語話者の結果は図5のとおりである。

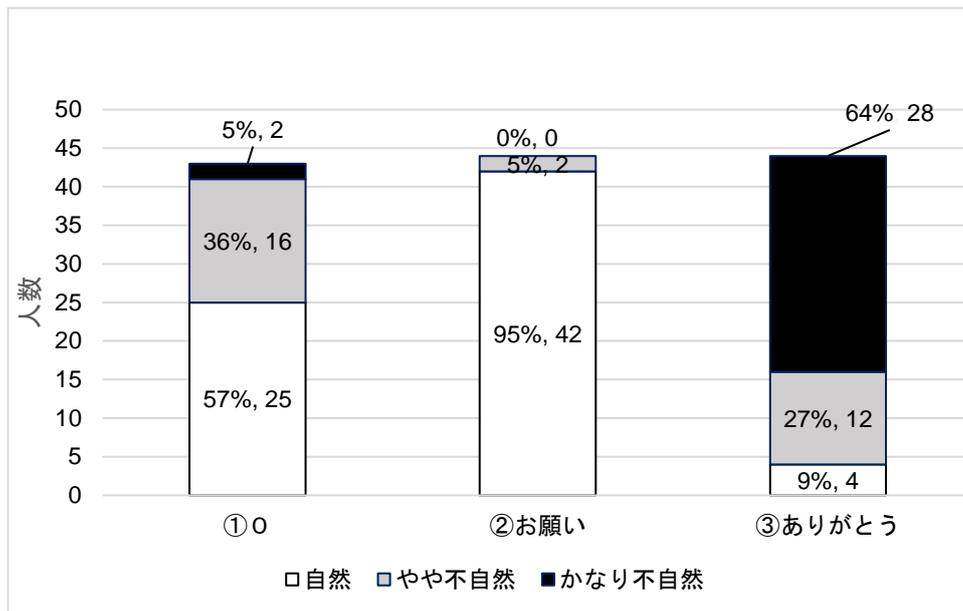


図5 設問3の日本語母語話者の回答

一方、中国語母語話者の結果は、図6のとおりである。

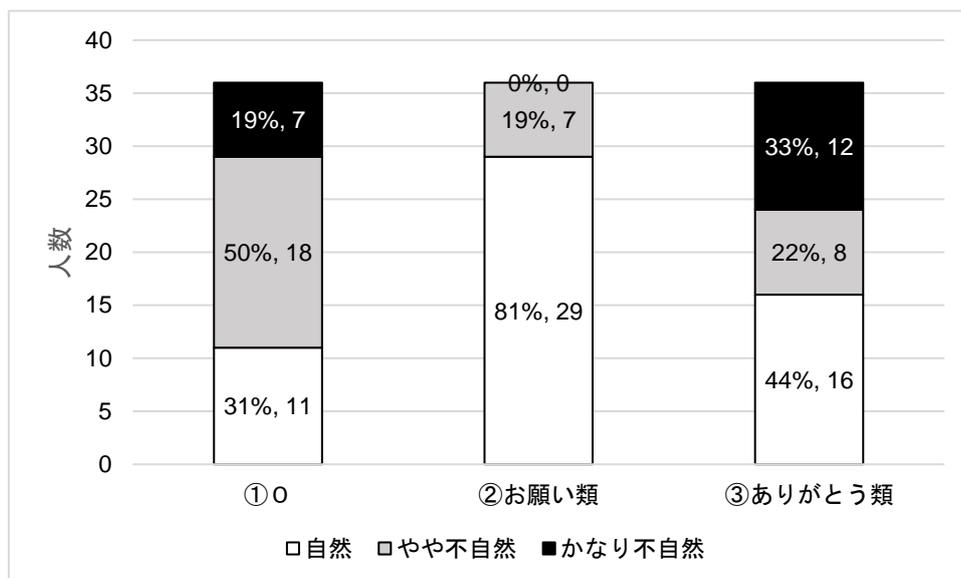


図6 設問3の中国語母語話者の回答

図5のように、日本語母語話者の多くは、「②お願い類」を「自然」と回答しており、ついで「①0（何も接続しない）」「③ありがとう類」と続く。「②お願い類」を「自然」と回答した人は、約95%であり、「①0（何も接続しない）」を「自然」と回答した人は約5.7%であり、「③ありがとう類」を「自然」と回答した人は約9%に過ぎなかった。なお、この設問の項目「①0（何も接続しない）」について、無回答の日本人母語話者が1名いる。

一方、図6のように中国語母語話者の場合、「自然」と回答した人が最も多かったのは「②お願い類」であり、ついで「③ありがとう類」「①0（何も接続しない）」と続く。「②お願い類」を「自然」と回答した人が最も多い点は日本語母語話者と同じであるが、「③ありがとう類」を「自然」とする人の割合は、日本語母語話者より高く、3.5ポイントの開きが存在した。この差について、 $\chi^2$ 乗検定を行ったところ、有意水準5%未満で有意差が認められた。

#### 設問4

次に、設問4の「そこを右に曲がってくれますか。」に続く①「0（何も接続しない）」「②お願い類」「③ありがとう類」の日本語母語話者の結果は図7のとおりである。

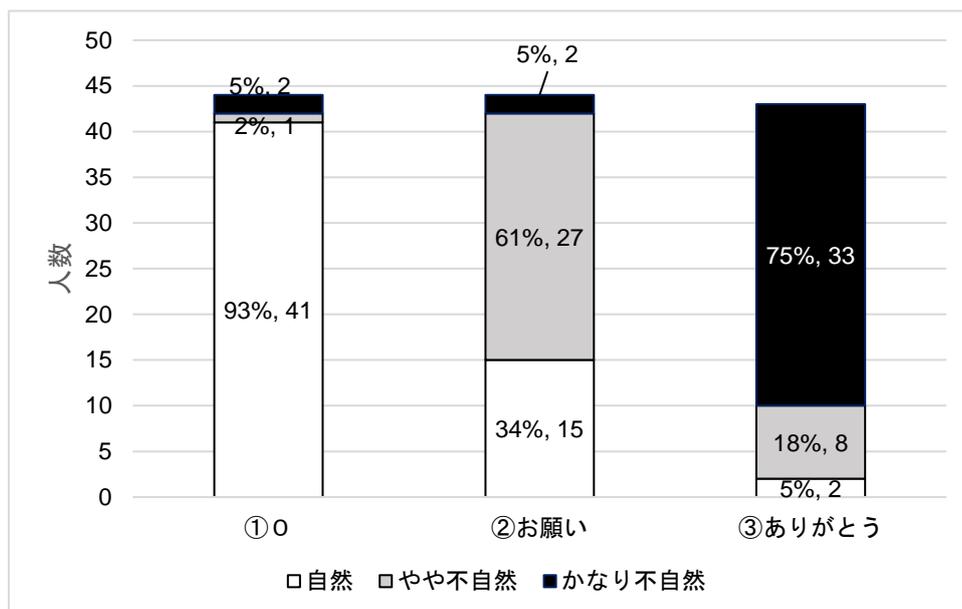


図7 設問4の日本語母語話者の回答

一方、中国語母語話者の結果は、図8のとおりである。

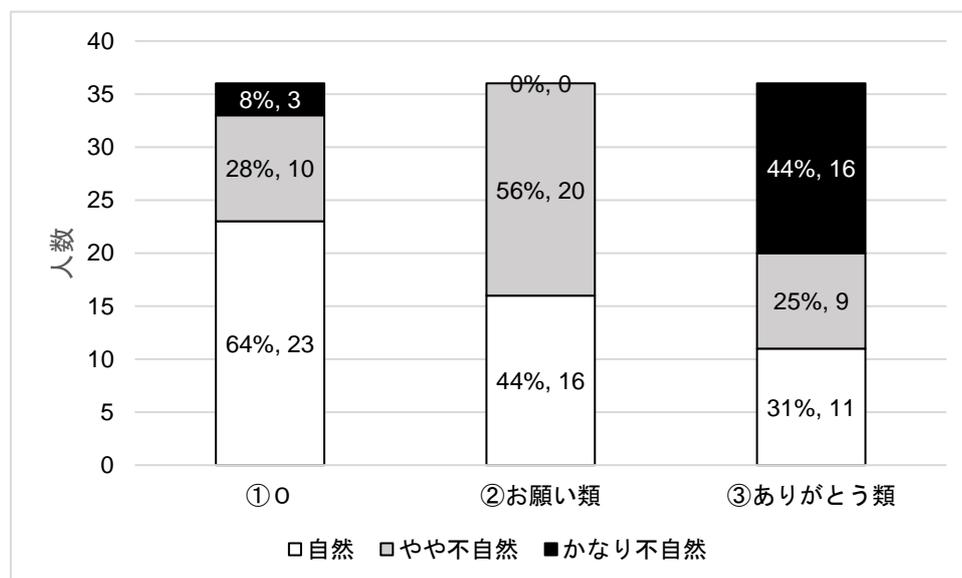


図8 設問4の中国語母語話者の回答

図7のように、日本語母語話者の多くは「①0（何も接続しない）」を自然と回答しており、ついで「②お願い類」「③ありがとう類」と続く。「①0（何も接続しない）」を「自然」と回答した人は、約93%であり、「②お願い類」を「自然」と回答した人は約34%であり、「③ありがとう類」を「自然」と回答した人は約5%

に過ぎなかった。なお、この設問の項目「③ありがとう類」について、無回答の日本人母語話者が1人いる。

一方、図8のように、中国語母語話者の半数以上は「①0（何も接続しない）」を「自然」と回答しており、「②お願い類」と「③ありがとう類」を「自然」と回答した中国語母語話者はいずれも多くはないが、「③ありがとう類」を「自然」とする人の割合は、日本語母語話者より高く、26ポイントの開きが存在した。この差について、 $\chi^2$ 検定を行ったところ、有意水準1%未満で有意差が認められた。

### 設問6

次に設問6の「タピオカミルクティーひとつ。」に続く「①0（何も接続しない）」「②お願い類」「③ありがとう類」の日本語母語話者の結果は図9のとおりである。

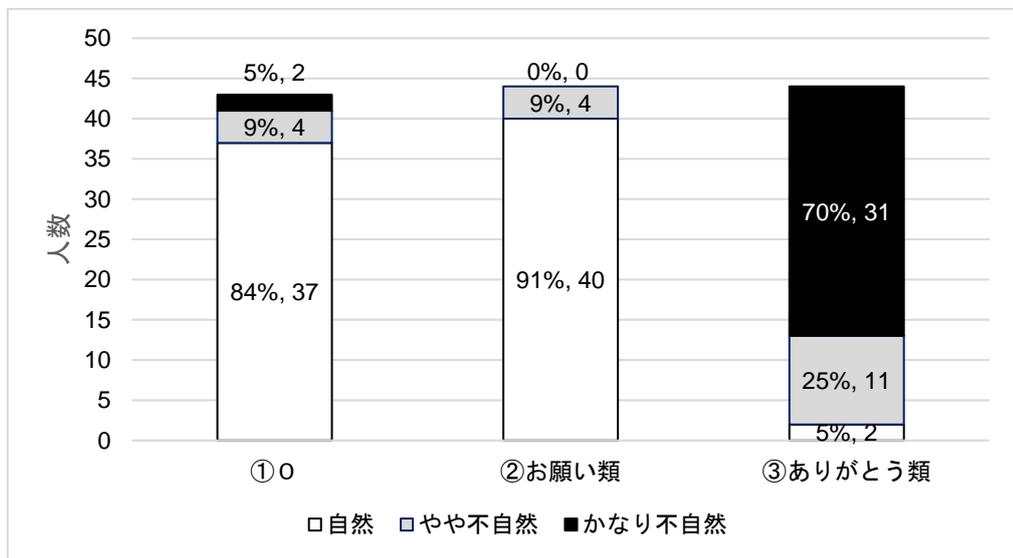


図9 設問6の日本語母語話者の回答

一方、中国語母語話者の結果は、図10のとおりである。

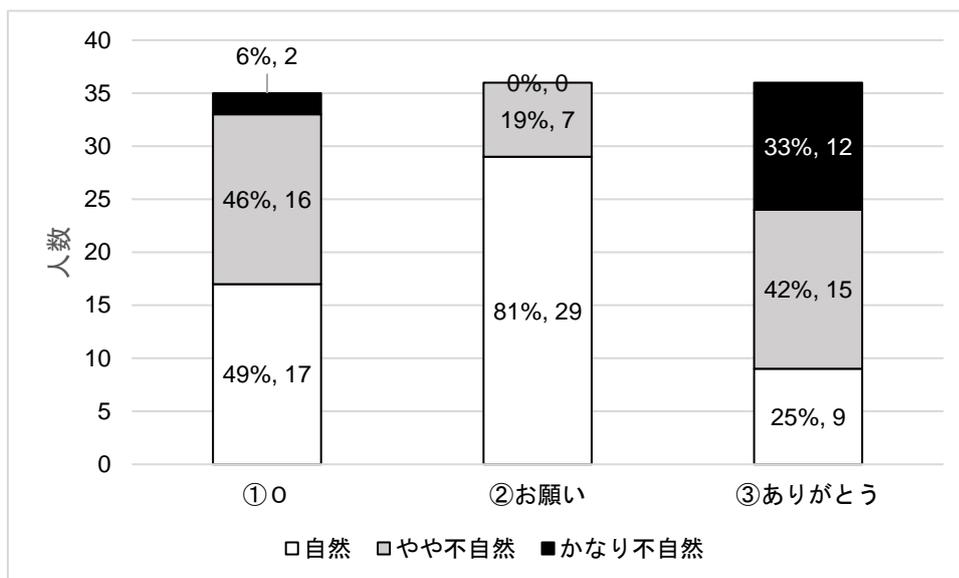


図 1 0 設問 6 の中国語母語話者の回答

図 9 のように日本語母語話者の多くは、「②お願い類」を「自然」と回答しており、ついで「①0 (何も接続しない)」「③ありがとう類」と続く。「②お願い類」を「自然」と回答した人は、約 84% であり、「①0 (何も接続しない)」を「自然」と回答した人は約 57% であり、「③ありがとう類」を「自然」と回答した人は約 5% に過ぎなかった。なお、この設問の項目「①0 (何も接続しない)」については、無回答の日本人母語話者が 1 人いる。

一方、図 10 のように、中国語母語話者は「①0 (何も接続しない)」、「③ありがとう類」を「自然」と回答した人数が少ない。約 81% の中国語母語話者は「②お願い類」を「自然」と回答している。なお、この設問の項目「①0 (何も接続しない)」については、無回答の中国語母語話者が 1 人いた。

#### 4. 1. 2 指示に近い依頼

##### 設問 5

設問 5 の [タクシーの運転手に財布を忘れたので家に戻ってもらうよう頼むとき] に続く「①0 (何も接続しない)」「②お願い類」「③ありがとう類」の日本語母語話者の結果は図 11 のとおりである。

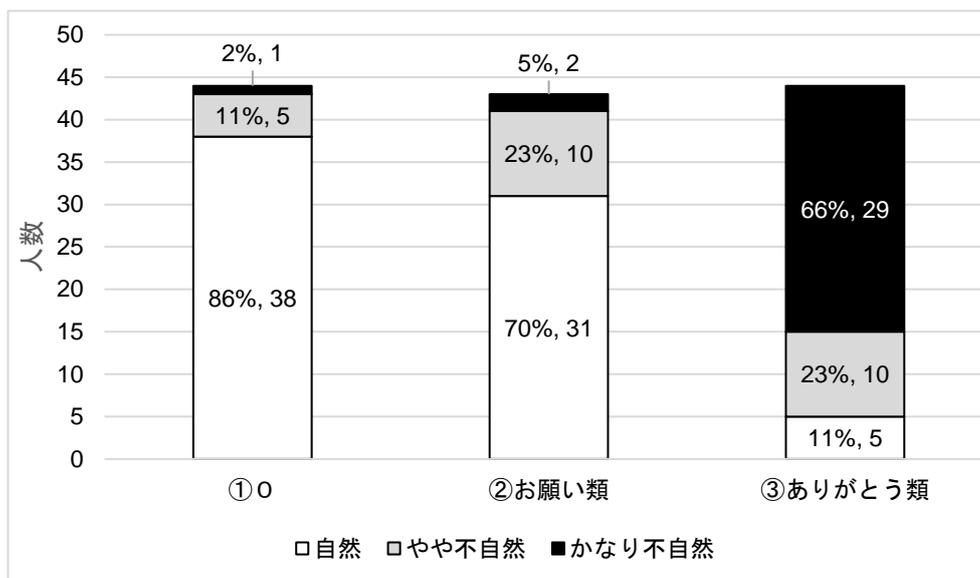


図 1 1 設問 5 の日本語母語話者の回答

一方、中国語母語話者の結果は、図 1 2 のとおりである。

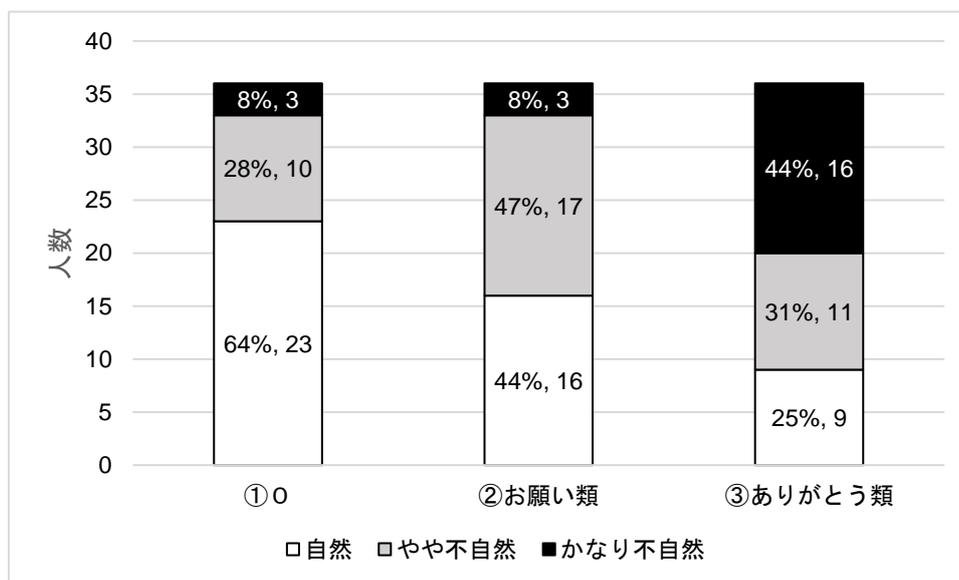


図 1 2 設問 5 の中国語母語話者の回答

図 1 1 のように日本語母語話者の多くは「①0 (何も接続しない)」を「自然」と回答しており、ついで「②お願い類」「③ありがとう類」と続く。「①0 (何も接続しない)」を「自然」と回答した人は約 86% であり、「②お願い類」を「自然」と回答した人は、約 70% であり、「③ありがとう類」を「自然」と回答した

人は約11%に過ぎなかった。なお、この設問の項目「②お願い類」について、無回答の日本人母語話者が1人いる。

一方、図12のように、日本語母語話者と比べて中国語母語話者の多くは、「①0（何も接続しない）」を「自然」と回答しており、「②お願い類」「③ありがとう類」を「自然」と回答した人数はいずれも多くない。

### 設問10

次に、設問10の「悪いんだけど、もう一時間だけ延長してくれるかな。」に続く「①0（何も接続しない）」「②お願い類」「③ありがとう類」の日本語母語話者の結果は図13のとおりである。

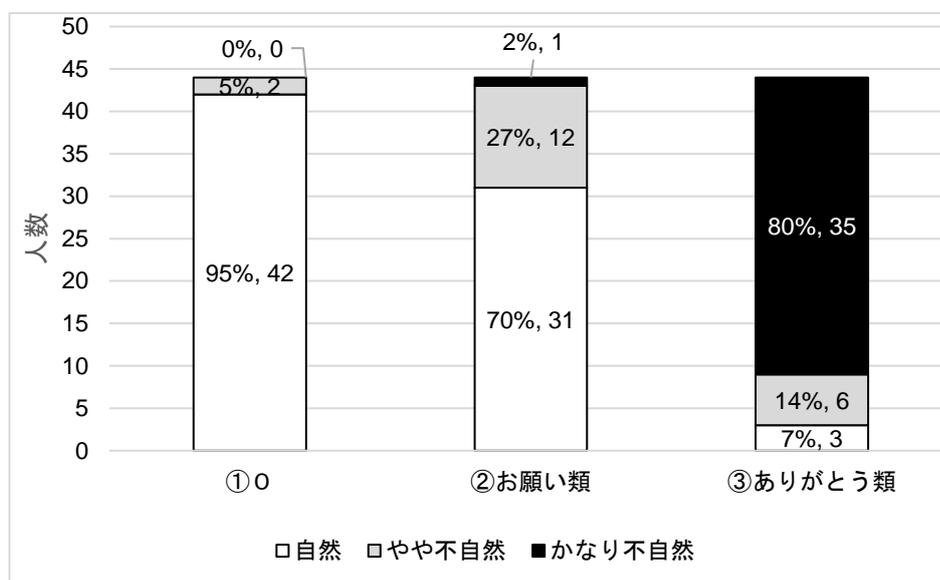


図13 設問10の日本語母語話者の回答

一方、中国語母語話者の結果は、図14のとおりである。

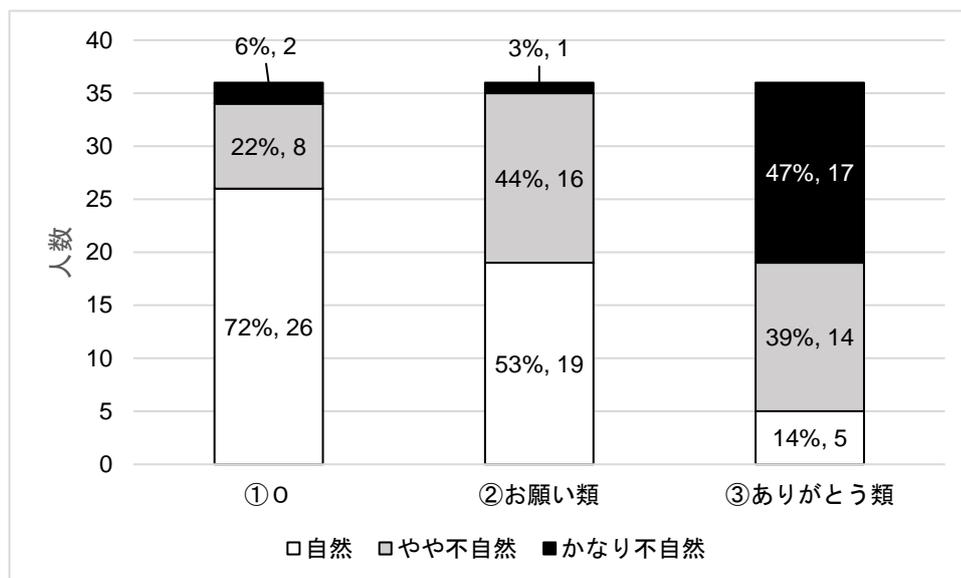


図 1 4 設問 1 0 の中国語母語話者の回答

図 1 3 のように、日本語母語話者の多くは「①0 (何も接続しない)」を「自然」と回答しており、ついで「②お願い類」「③ありがとう類」と続く。「①0 (何も接続しない)」を「自然」と回答した人は約 9 5 % であり、「②お願い類」を「自然」と回答した人は約 7 0 % であり、「③ありがとう類」を「自然」と回答した人は約 7 % に過ぎなかった。

一方、図 1 4 のように中国語母語話者の多くは「①0 (何も接続しない)」、「②お願い類」を「自然」と回答しており、「③ありがとう類」について「自然」と回答した中国語母語話者は数名しかいない。

#### 4. 1. 3 依頼

##### 設問 7

次に、設問 7 の「ちょっと、ノート貸してくれる。」に続く「①0 (何も接続しない)」「②お願い類」「③ありがとう類」の日本語母語話者の結果は図 1 5 のとおりである。

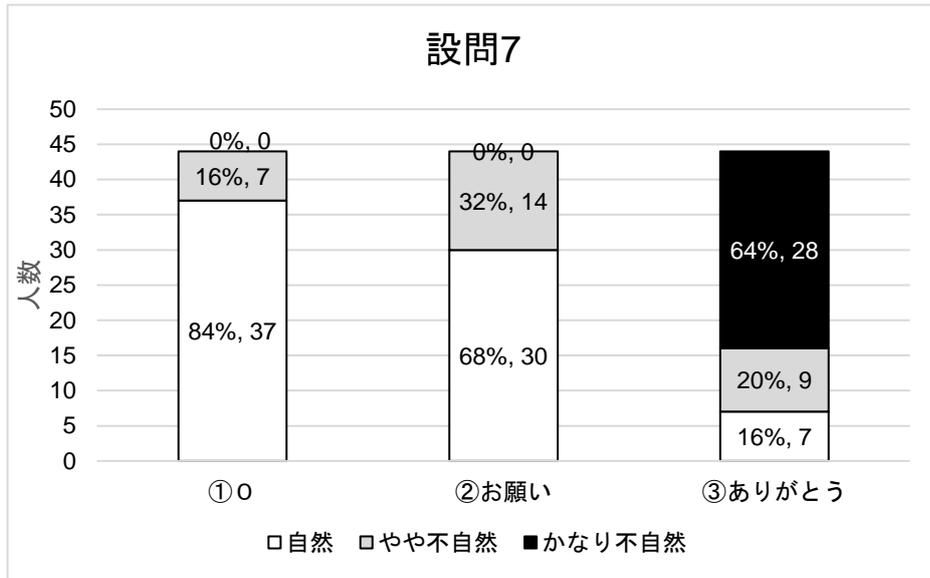


図 1 5 設問 7 の日本語母語話者の回答

一方、中国語母語話者の結果は、図 1 6 のとおりである。

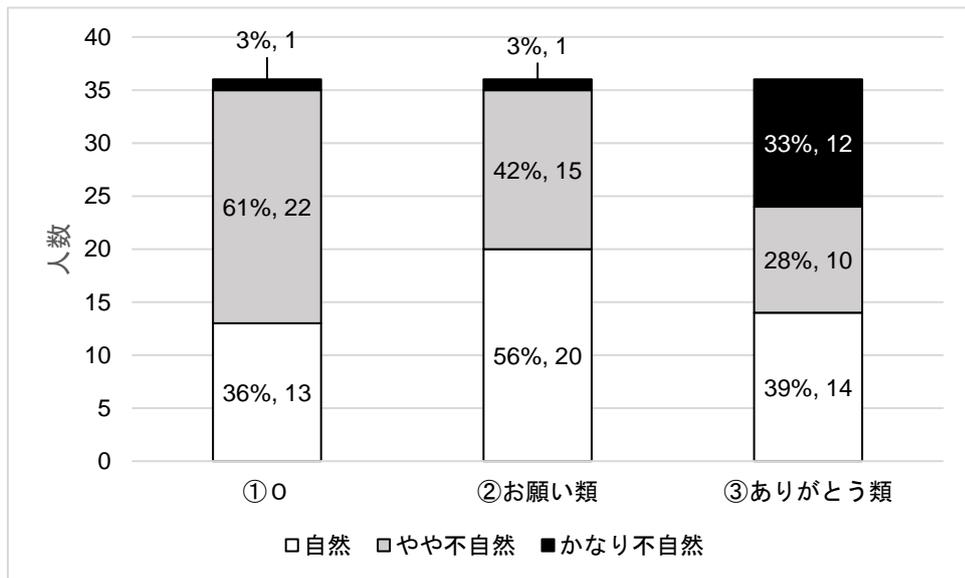


図 1 6 設問 7 の中国語母語話者の回答

図 1 5 のように、日本語母語話者の多くは①「0（何も接続しない）」を「自然」と回答しており、ついで「②お願い類」「③ありがとう類」と続く。「①0（何も接続しない）」を「自然」と回答した人は約 8 4 % であり、「②お願い類」を「自然」と回答した人は約 6 8 % であり、「③ありがとう類」を「自然」と回答した人は約 1 6 % に過ぎなかった。

一方、図16のように、中国語母語話者は「①0（何も接続しない）」「②お願い類」「③ありがとう類」のいずれも「自然」と回答した人の数はあまり多くないが、「③ありがとう類」を「自然」とする人の割合は日本語母語話者より高く、23ポイントの開きが存在した。この差について、 $\chi^2$ 二乗検定を行ったところ、有意水準5%未満で有意差が認められた。

### 設問8

次に、設問8の「先生、実はアメリカに留学しようと考えていて…お手数おかけしますが推薦状を書いていただけますか。」に続く「①0（何も接続しない）」「②お願い類」「③ありがとう類」の日本語母語話者の結果は図17のとおりである。

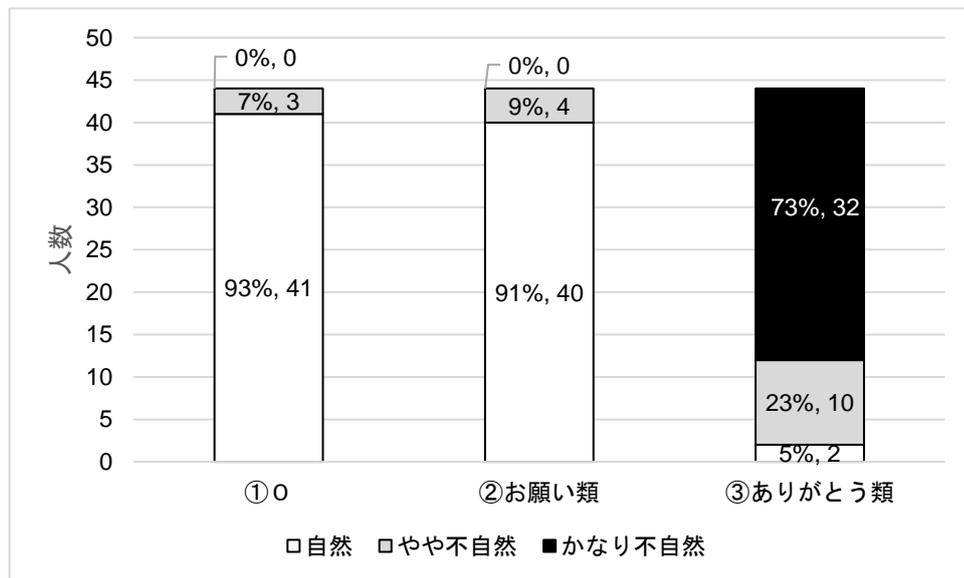


図17 設問8の日本語母語話者の回答

一方、中国語母語話者の結果は、図18のとおりである。

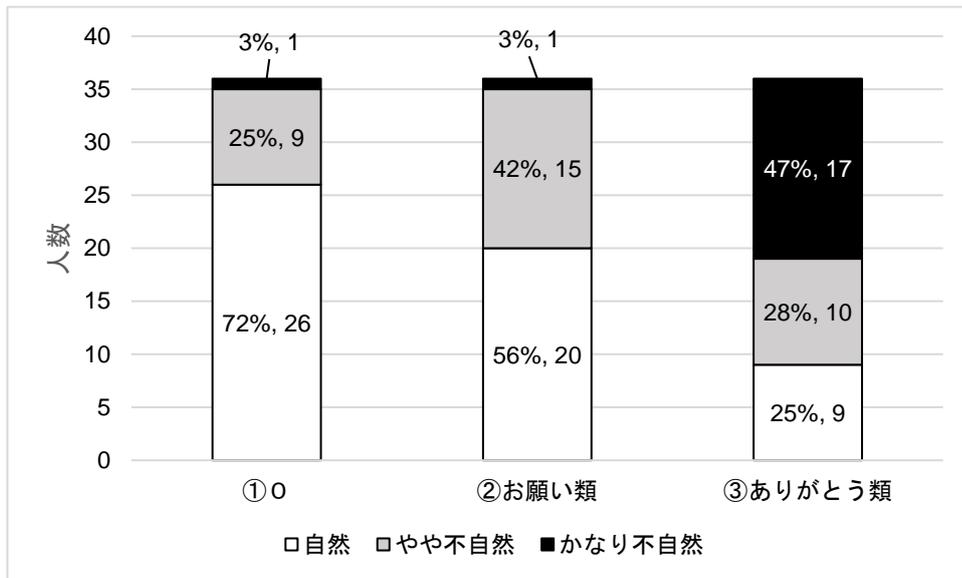


図 1 8 設問 8 の中国語母語話者の回答

図 1 7 のように、日本語母語話者の多くは「①0 (何も接続しない)」を「自然」と回答しており、ついで「②お願い類」「③ありがとう類」と続く。「①0 (何も接続しない)」を「自然」と回答した人は約 9 3 % であり、「②お願い類」を「自然」と回答した人は約 9 1 % であり、「③ありがとう類」を「自然」と回答した人は約 5 % に過ぎなかった。

一方、図 1 8 のように中国語母語話者の多くは「①0 (何も接続しない)」、「②お願い類」を「自然」と回答しており、4 7 % の中国語母語話者は「③ありがとう類」を「かなり不自然」と回答している。

### 設問 9

最後に設問 9 の「今度の日曜、用事がある。お休みいただけますか。」に続く「①0 (何も接続しない)」「②お願い類」「③ありがとう類」の日本語母語話者の結果は図 1 9 のとおりである。

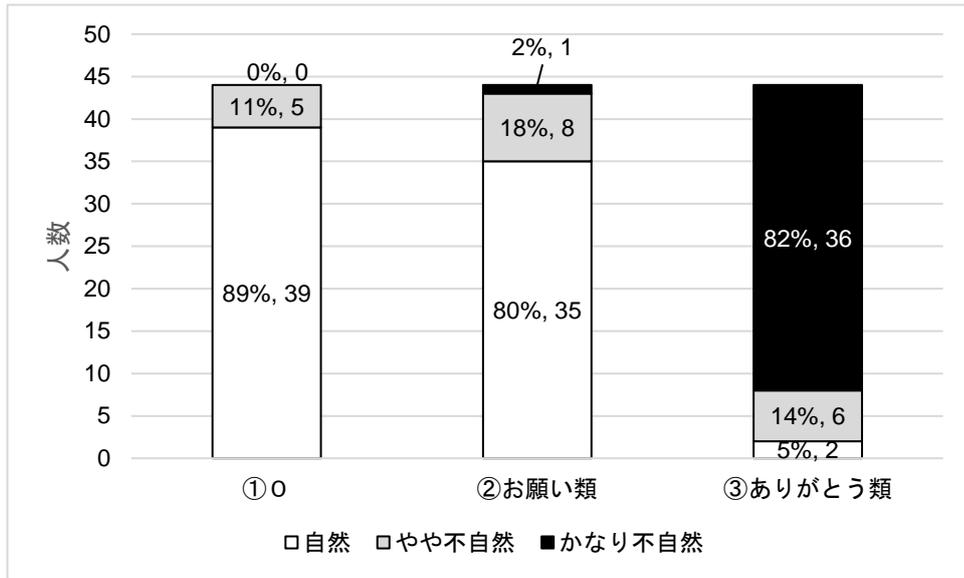


図19 設問9の日本語母語話者の回答

一方、中国語母語話者の結果は、図20のとおりである。

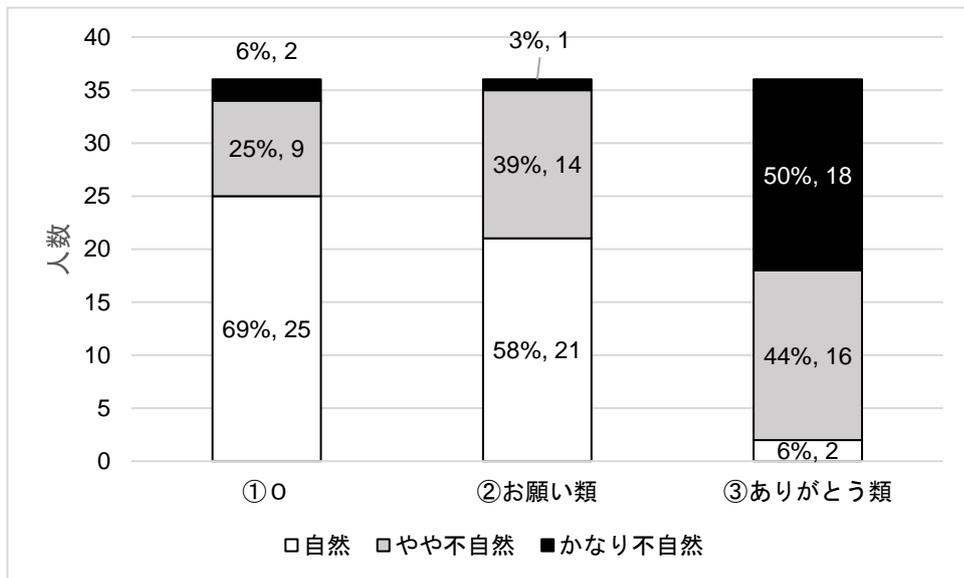


図20 設問9の中国語母語話者の回答

図19のように、日本語母語話者の多くは「①0（何も接続しない）」を「自然」と回答しており、ついで「②お願い類」「③ありがとう類」と続く。「①0（何も接続しない）」を「自然」と回答した人は約89%であり、「②お願い類」を「自然」と回答した人は約80%であり、「③ありがとう類」を「自然」と回答した人は約5%に過ぎなかった。

一方、図20のように中国語母語話者の多くは「①0（何も接続しない）」、「②お願い類」を「自然」と回答しており、「③ありがとう類」について「やや不自然」、「かなり不自然」と回答した人は99%である。

#### 4. 2 フォローアップインタビューの結果

##### 4. 2. 1 フォローアップインタビューの質問1の結果

ここではフォローアップインタビューの結果を示していく。

本フォローアップインタビューでは、アンケートの質問項目1-10の小項目「③ありがとう類」のすべてについて「やや不自然」「かなり不自然」を選択した中国語母語話者6名に対し、第3章3.2に記載した質問を行った。

以下、その回答を文の意味を妨げない範囲で日本語を修正して示す。

まず、フォローアップインタビューの質問1の「1~10の『③ありがとう/ありがとうございます』について『やや不自然』『かなり不自然』を選択した理由は何か」の回答結果は以下のとおりである。なお、各回答の終わりに記載した（）は、巻末の付録の表に示した回答者ID番号に相当する。

- ① 日本と中国の言い方はだいぶ違うので、ちょっと不自然だと思った（C2）
- ② 人に（特に目上の人）に何かを頼んだ時に、相手がまだ返事してくれないうちに、相手の態度が把握できないため、「ありがとう」を言うのはちょっと早い（C5）
- ③ 職場で日本人の同僚と会話する時にそんな会話はあまり聞いたことがない（C6）
- ④ 相手との社会関係の裏にある上下関係によって、拒否される可能性が低い場合は「ありがとう」を言っても完全に納得するに対して、拒否される可能性が高い場合は「ありがとう」を事前に言うのは不自然である。（C8）
- ⑤ 相手はまだ答えてくれませんので、直接「ありがとうと」か言ったら良くないと思います。（C9）
- ⑥ （日本語と中国語とも）普段はあまり使わない表現だから（C12）

これらの結果から回答者C5と回答者C8は上下関係を事前感謝の不自然さの要因と見ていることがわかる。また、C6やC12のようにそのような言い方を職場や普段の生活の中で聞かないことを理由にあげている者もいる。

さらに、C5とC9は、相手が返答する前に感謝表現を口にすることを不適切と認識している。

#### 4. 2. 2 フォローアップインタビューの質問2の結果

次に質問2の「1~10と同様の中国語でのコミュニケーション場面で、依頼の最後に“谢谢”を用いたとしたら自然とを感じるか、不自然とを感じるか。その理由は何か」についての回答は以下のとおりである。

- ① 日本語の「どうぞ」、「お願いします」のように中国語の場合は、何かを頼む時は、たいてい前に「谢谢」を言うのが自然です（C2）
- ② 先生や上司などの目上の人に頼む際に、相手はストレスを感じます（C5）
- ③ もし中国人同士の間なら、自然だと思います。なぜなら中国語では、頼む前も、頼む時も、頼んだ後も、全部「ありがとう」を使います。ちょっと日本人のやり方と違いますね（C6）
- ④ 日本語の場合（相手との上下関係）と同じように、拒否される可能性が低い場合は「谢谢」を言っても完全に納得するのに対して、拒否される可能性が高い場合は恩恵関係がなり立ちにくいいため、「谢谢」を事前に言うのは不自然である。（C8）
- ⑤ ちょっと自然ではないと思います。もし相手がまだ答えていないのに、「ありがとう」と言ったら、なんか礼儀正しくないと思います。（C9）
- ⑥ 特に若者が友だちと話すときに「谢谢」を言ったら、もう友だちではないとを感じる。でも注文する時は事前感謝として言います（C12）

C2、C6、C8、C12が述べるように中国語の場合は日本語と比較すると事前感謝として用いる「谢谢」の使用に対する寛容度が高い。C2のように「谢谢」は日本語の「お願いします」のように使われるという意見もあった。

しかし、C5、C8のように相手との上下関係により事前感謝としての「谢谢」の使用が難しいことを指摘している者もいる。この指摘は第2章に示した次の李（2014）の事前感謝の特徴①に合致する。

- ① 事前感謝の相手は、一般的に目下の人やサービス業の従業員であること

また、C12のように友達関係でも事前感謝の「谢谢」を使いにくいと感じている者もいた。

さらに、C9のように事前感謝の「谢谢」を不自然、礼儀正しくないと感じる者もいた。

この他C8のように相手に拒否される可能性によって、事前感謝の「谢谢」の自然さが変わると述べる者もいた。この指摘も第2章に示した次の李の事前感謝の特徴②に合致する。

## ② 依頼の当然性が高いときに事前感謝を使用する

このように、概ね、事前感謝の「谢谢」に対する中国語母語話者の寛容度は日本人母語話者の事前感謝の「ありがとう／ありがとうございます」より高いものの、その度合は一様ではないことがうかがえた。

### 4. 2. 3 フォローアップインタビューの質問3の結果

最後に、質問3の「日本語でのコミュニケーション場面について、1~10の③のように、依頼時に、相手の承諾を得る前に、『ありがとう』や『ありがとうございます』を使ったことはあるか。そのとき、日本人はどのような反応であったか。」についての回答は以下のとおりである。

- ① 使ったことはないね、たいてい日本語では事後に「ありがとう」を言います（C2）
- ② 使ったことはない…ありがとうは相手の承諾を得た後言います。多分その代わりに、「お願いします」が一番よく言います。（C5）
- ③ 最初の時使ったことがあります。（私は）中国人だから。多分、（同僚たちの）顔色がちょっと変わった。日本人の同僚聞いた後。多分変と思われる。ちょっと強引な言い方かもしれません。（C6）
- ④ 私自身はないです。何故かと言うと、私は入社してからはまだ長くないので、私より下の(立場)の人はあまりいないです。逆に、上司、部長さんに「王さん、水を取ってくれない?ありがとう。」と言われたことがあります。（C8）
- ⑤ (使ったことは) ないです。（C9）
- ⑥ 使ったことはあります。その時の日本人の反応も「あ、こちらこそ、ありがとうございますどうも」とか（C12）

C2、C5、C8、C9のように事前感謝表現を一度も使ったことがない事例が多く見られるが、C6、C12のように使ったことがあるという回答者もいる。後者の回答者のうちC6は、特に日本人の反応が変わったことをあげている。また、C12は相手も「ありがとうございます。」と返事をしたことをあげている。さらに、C8は、自分は使ったことはないが、上司からそのような言葉遣いをされたことがあると述べていた。

### 4. 3. シミュレーション調査の結果

ここでは、日本語母語話者に対して行ったシミュレーション調査の結果を見ていく。シミュレーション場面は、第3章の3. 3に示した場面である。

#### 4. 3. 1 場面1の結果

場面1は以下のとおりである。

「場面1」乗客がタクシーに乗って広島駅に向かっている。

参加者の役割：タクシー運転手

調査者の役割：タクシーの乗客

参加者に与えられたタスク：次の会話のやりとりに参加する

乗客：「広島駅までお願いします。」

運転手：「はい、承知しました。」

(途中)

乗客：「あの、財布を忘れたので家に戻ってもらってもいいですか。ありがとうございます。」

この場면을疑似体験したあとの日本語母語話者3名の感想は以下のとおりである。

- J1 お客さんだし、もちろん連れて行ってあげたいけど、先に「ありがとう」と言われると、自分を必ず家に連れていくのが前提かなと思います。ちょっと不自然と思う。ずうずうしい感じ、絶対にやらなければいけないような、強制されたような気持ちですね。
- J2 私も事前に「ありがとう」と言われると、絶対に戻らなければいけないような気持ちになります。やはりちょっと不自然と思う。「ありがとう」は、相手は何かしてくれて、それに対して言うものだから、先に「ありがとう」がくると、こちらが絶対しなければいけないことになっちゃうから、だからちょっとずうずうしいかなと思います。
- J3 不自然だと思います。失礼とは思わないけど、「あの、財布を忘れたので家に戻ってもらってもいいですか」という質問から、運転手が答えて、「分かりました」と言ってから、「ありがとうございます」なら分かりますけど、そのまますぐに「ありがとうございます」をつけてしまうと、若干違和感があるかなと思いました。

これらの感想から3名の参加者がいずれも不自然さを感じていることがわかる。さらにJ1とJ2はずうずうしいという印象を持っていた。理由としてはJ1は強制された気分になることを、J2は絶対しなければならないような気持ちになることを挙げていた。J3は相手が返事をする前にすぐに「ありがとうございます」を

つけると、若干違和感があると述べていた。以上のようにいずれもこの場面の事前感謝に対して、違和感を抱いていることがわかる。

#### 4. 3. 2 場面2の結果

場面2は以下のとおりである。

「場面2」アルバイトの店員が仕事を終え帰ろうとしている。

参加者の役割：アルバイトの店員

調査者の役割：店長

参加者に与えられたタスク：次の会話のやりとりに参加する

店員：「では、お先に失礼いたします。」

店長：「〇〇さん、悪いんだけど、もう一時間だけ延長してくれるかな。  
ありがとう。」

この場面を疑似体験したあとの日本語母語話者3名の感想は以下のとおりである。

- J1 断れない。相手は、上の人、上司なので、上司だから、もともと断りづらいし、先に「ありがとう」と言われると、さらに断りづらいので、絶対に残りなさいという意味が隠れているように感じます。上司だから、強制されたような、少し怖い。
- J2 上司だし、（私は）お金を貰える立場だし、延長させたい気持ちが見えて来て、帰れない気持ちになります。怖かったり、面倒くさいな、そういう感じです。
- J3 とても不自然だと思います。失礼な感じもしますし、嫌な気持ちもします。すぐに「ありがとう」って言われてしまうと、自分が返事していないのに、延長して働くことを、強要されている感じがするので、とても威圧的な言葉だなと思います。

これらの感想から3名の参加者が、いずれも不自然さを感じていることがわかる。またJ1とJ2はいずれも怖いと感じており、J3は威圧的に感じている。不自然さの理由としては、J1は、先に「ありがとう」と言われるとさらに断りづらいことを挙げている。また、J2は、帰れない気持ちになり、面倒くさい感じがすると述べている。さらに、J3は、延長されていることを強要されている感じがすることを挙げている、以上のようにいずれの参加者もこの場面の事前感謝に対して、違和感や威圧感を抱いていることがわかる。

#### 4. 3. 3 場面3の結果

場面3は以下のとおりである。

「場面3」パーティーで友だちにコップを持ってきてくれと頼まれた。

参加者の役割：コップをもってくるように依頼された人A

調査者の役割：コップを持ってくるように依頼した友達B

参加者に与えられたタスク：次の会話のやりとりに参加する

B：悪いけど、コップ一つ持って来てくれる。ありがとう。

この場面を疑似体験したあとの日本語母語話者3名の感想は以下のとおりである。

- J1 前の会話と違う。同じぐらいだから、そこまで失礼だとか、ずうずうしいとか、面倒くさいとか思わないけど、でも、やはり私が取るのが前提だな？と感じます。普通だと思います。
- J2 私も、先より、コップ取るのはすごく簡単なことなので、「ありがとう」と先に言われでも、そんなに失礼だと思わなかったけど、でも「ありがとう」より、私が日常に友達に言ってもらう時だと、コップ取って、ごめんねって言われることが多いので、少しだけ不自然だと思いました。
- J3 不自然だと思います。失礼だと思います、でも、友達には言わないと思います。（友達との）関係が悪くならないけど、疑問を持つ。こちらの返事を待ってから「ありがとう」でも、全然違和感がないかなと思って、すぐに感謝する必要がないかなと思います。日本語だと、事前感謝と言うのがすごく失礼になってしまうと思いますけど、事前に謝罪する？ 先にごめん、先に誤ったら、返事を待たずに、「ごめん、」「すごくごめん」って言う言葉があるかなと思って、その、事前感謝はないけど、事前に謝罪する？と言うのはすごくあると思います。

3名の参加者は、いずれも先の二つの場面と同様不自然さを感じているが、容認度に関しては、J1とJ2は先の二つの場面より高いことがわかる。理由としてJ1は（年齢）が同じぐらいであることをあげている。また、J2は、前の場面と比べると、非常に簡単な頼みごとなので、それほど失礼だと思わないとしている、さらに、「ありがとう」より「ごめんね」と言われるほうが多いとしている。J3も、この場面で事前感謝に対し疑問を感じている。返事をする前に、感謝する必要がないと感じている。

以上、本章では、本研究で行った調査結果について見てきた。次章では、本調査結果に基づく考察を行う。

## 第5章 考察

### 5.1 日本語母語話者の回答結果

第1章では「日本人同士でコミュニケーションをする時に、中国式の事前感謝表現を用いることは一切ないのだろうか」「場面によって日本語母語話者が感じる事前感謝に対する不自然さの程度に違いはないのだろうか」という問題提起を行った。ここでは第4章に示した調査結果に基づいて、これらの問題について考察を行う。

まず、アンケート調査結果から見てきたのは、日本語母語話者が日本語での事前感謝を「自然」と認識するケースは極めて少ないが、絶対にはないとは言えないことである。

ただし、事前感謝の「③ありがとう類」に対して「自然」と回答した日本語母語話者の割合には設問により違いがあった。

10の設問のうち、「③ありがとう類」を「自然」と回答した日本語母語話者の割合が10%以上であったのは、設問1、2、5、7の4つで、5%以上10%未満のは、設問は設問3、4、6、8、9、10の6つで、5%未満の設問はなかった。

このように、「③ありがとう類」を「自然」と回答した日本語母語話者は全体的には少ないが、各設問で「自然」と思う人がいる。

以下、「③ありがとう類」を「自然」と回答した日本語母語話者の割合が10%以上の設問と5%以上10%未満の設問を対照させながら、事前感謝に対する日本語母語話者の容認度について考察する。

「③ありがとう類」を「自然」と回答した日本語母語話者の割合が10%以上の設問のうち設問1と7は、友人間の発話場面に当たる。設問1と7では「③ありがとう類」を「自然」と回答した人の割合は、いずれも約16%であり、それ以外の発話場面よりも多かった。

残る設問2と5で取り上げた発話場面は、いずれも「業務員と顧客の関係」の発話場面に当たる。この設問2と5では「③ありがとう類」を「自然」と回答した人の割合は、いずれも約11%であった。他の「業務員と顧客の関係」の発話場面を取り上げた設問は、設問3と設問4である。このうち設問3では「③ありがとう類」を「自然」と回答した人の割合は約9%で、10%に近い数値になっている。しかし、設問4では、「③ありがとう類」を「自然」と回答した人の割合は5%であった。設問4の場面は[タクシーの運転手に右に曲がってもらうよう頼むとき]である。なぜこの場面では、他の「業務員と顧客の関係」場面よりも事前感謝に対する容認度が低いのかについては現時点では不明である。

以上のことから、日本人の事前感謝に対する容認度に影響する要因として二つの要因が示唆される。一つは親疎関係である。親しい友人関係では、それ以外の場合よりも事前感謝に対する容認度が高い可能性がある。もう一つは、「業務員と顧客の関係」である。サービス従業員に対する事前感謝については、その他の人間関係（ただ友人関係は除く）よりも容認度が高いことが確認できた。この点については、李は中国語母語話者が事前感謝を用いる時の相手として「事前感謝の相手は、一般的に目下の人やサービス業の従業員であること」をあげていた（本稿 p. 7）点とも少なからず関わりが認められる。

とはいえ、「業務員と顧客の関係」の発話場面を扱った4つの設問のうち3においては「③ありがとう類」を「自然」と回答した人の割合が10%前後であった。理由については今後さらなる検討が必要である。

次に、シミュレーション調査からは、日本語母語話者は「上下関係」において、上から下に依頼する際に、事前感謝を使うと強制的な指示に聞こえること、恐怖や威圧感を与えることもあることが明らかとなった。

## 5. 2 中国語母語話者の回答結果

第1章では、「中国式の事前感謝について日本に滞在する中国語母語話者はどのように考えているのだろうか」という問題提起を行った。ここでは第4章に示した調査結果に基づいて、この問題について考察を行う。

アンケートの調査結果では、事前感謝に対する容認度は設問1～設問10のいずれにおいても中国語母語話者の方が日本語母語話者より高かった。日本語母語話者と比べて、中国語母語話者は「指示」、「依頼に近い指示」、「依頼」の3種類の設問のいずれに関しても、「不自然」と回答した人の割合は少なかった。特に設問の1、3、4、7の「③ありがとう類」を「不自然」と回答した人の割合が低い。

場面によって多くの中国語母語話者も「不自然」と感じていたが、総じて日本語での事前感謝に対する中国語母語話者の容認度は日本語母語話者より高い結果を示した。人間関係については、中国語母語話者も日本語母語話者と同様、目上の人に対して「事前感謝」を使用するのは「不自然」と感じている。一方「友人関係」においては、「③ありがとう類」を「自然」と回答した人は約半数を占めている。これは「友人関係」の場合、信頼関係に基づいて、相手の同意を予測しやすいことによると考えられる。文末に「③ありがとう類」をつけても「自然」と思われる傾向性がある。「業務員と顧客」の関係の中でも似たような傾向がある。これには「中国の語用規範」の影響もあると推測される。なぜならフォローアップインタビューで「……（前略）中国語では、頼む前も、頼む時も、頼んだ後も、全部ありがとうございます。」（C2）のようなコメントも存在したからである。中国語母語話者が店で何かを注文する場面で「谢谢」という感謝表現を使う時は「お願いします」のような意味を含んでいると推測できる。

「業務員と顧客の関係」の関係については、日本語母語話者より中国語母語話者のほうが事前感謝に対する寛容性があることがわかった。顧客はお金を払うかわりにサービスを受けることを当然のことと認識し、平等な価値交換関係の立場を取っているため、従業員がサービス範囲内の依頼を拒否する可能性は低い。

そのため、客から従業員に対する事前感謝が容認されるものと考えられる。

また、日本語での事前感謝に対して不自然と回答した中国語母語話者に対して行ったフォローアップインタビューの結果より、被調査者が日本語でのコミュニケーションにおける事前感謝に対して以下のような認識を抱いていることが明らかとなった。

1. 上位の人に対して、使いづらい
2. 職場や普段の生活の中で聞かない
3. 相手が返答する前に感謝表現を口にするのは礼儀正しくない

さらに、中国語による事前感謝については、日本語と比べると自然と思う人が多い一方、中には不自然と感じる人もいた。

### 5. 3 日本語母語話者と中国語母語話者の相違

#### 5. 3. 1 発話内行為の影響

「③ありがとう類」を「不自然」と回答した人の割合について、日本語母語話者と中国語母語話者の間に有意差が認められるかどうか $\chi^2$ 二乗検定を行ったところ、まず、「指示」の設問のうち、設問1、3、4、6において有意差が認められた。しかし、設問2には有意差が認められなかった。全体的な検定結果から見ると中国語母語話者は日本語母語話者より「③ありがとう類」を自然と認識する傾向がある。

次に、「依頼に近い指示」の設問のうち、設問5と設問10の「③ありがとう類」については「自然」と回答した中国語母語話者の割合が日本語母語話者より高かったため、 $\chi^2$ 二乗検定を行ったところ、いずれも有意差が認められなかった。したがって、必ずしも中国語母語話者が日本語母語話者より「③ありがとう類」を自然と認識しているとは言えない。

最後に、「依頼」の設問については、日本語母語話者で最も多かったのは「①0（何も接続しない）」であった。中国語母語話者では「①0（何も接続しない）」と「②お願い類」が多かった。「③ありがとう類」の割合について $\chi^2$ 二乗検定を行ったところ、設問7、8は日本語母語話者と中国語母語話者とで有意差（有意水準5%未満）が認められたが、設問9は有意差が認められなかった。

### 5. 3. 2 人間関係の影響

アンケートで取り上げた各場面において、中国語母語話者の回答は日本語母語話者の回答とかなり違っていた。以下、まず「友人関係」の影響について見ていく。友人関係の依頼場面は、設問1と7である。日本語母語話者はいずれにおいても「①0（何も接続しない）」と「②お願い類」を「自然」と回答した人が多かったものの、「③ありがとう類」をつけると「自然」と認識する人がそれ以外の場面よりやや高かった。中国語母語話者は設問7について「②お願い類」を「自然」と回答した人が一番多かった。中国語母語話者は日本語で友人に頼む際に「②お願い類」を用いるほうが丁寧であると認識する傾向が見られる。

### 5. 3. 3 事前感謝の役割

まず、日本語母語話者を対象としたシミュレーション調査の回答からは、日本語母語話者は事前感謝より事前謝罪のほうをよく使用していることがわかった。これは、Brown&Levinsonの言うところの相手のネガティブ・フェイス（他者に踏み込まれたくない、煩わされたくないという欲求）に対する配慮ととれる。それに対して、中国語母語話者は事前感謝を使っているが、これは相手のポジティブフェイス（他者に好かれたい、認められたいというような、他者に近づきたい欲求）に対する配慮ととれる。また、中国語母語話者を対象としたフォローアップインタビューでは「谢谢」を言ったら、もう友だちではないと感じる。」(C12)というようなコメントもあった。このことから「谢谢」は人間関係のバランスの維持において日本語の「ありがとう」と多少違うところもあると考えられる。つまり中国語母語話者は業務員と顧客といった特定の人間関係において事前感謝として「谢谢」を使うことで、人間関係の調整を目指している。

最後に、フォローアップインタビューの結果により、中国語母語話者が感じる、日本語コミュニケーションにおける事前感謝の自然さには、「中国の語用規範」以外に「日本社会の経験値」も影響していると推測される。「職場で日本人の同僚と会話する時にそんな会話はあまり聞いたことがない。」「最初の時使ったことがあります。（私は）中国人だから。多分、（同僚たちの）顔色がちょっと変わった。日本人の同僚聞いた後、多分変と思われれます。ちょっと強引な言い方かもしれません。」(C6)といったコメントから社会实践活动に参加した体験がある中国語母語話者は、事前感謝を慎重に使わないことがわかる。

以上、本章では、第1章で提起した問題に対して調査結果に基づく考察を行った。次章では、本研究を振り返るとともに、今後の課題を提示する。

## 第6章 おわりに

本研究では、第1章で提起した「日本人同士でコミュニケーションをする時に、中国式の事前感謝表現を用いることは一切ないのだろうか」「場面によって日本語母語話者が感じる事前感謝に対する不自然さの程度に違いはないのだろうか」「中国式の事前感謝について日本に滞在する中国語母語話者はどのように考えているのだろうか」の3つの問題点に関して独自の調査に基づく考察を行った。

第2章では、考察に先立ち「詫び表現を感謝表現として用いる理由」、「心情別に見た感謝表現の形式」、「日本語学習者の感謝行動」、「再感謝に関する研究」、「事前感謝に関する研究」に焦点を置き、先行研究を概観した。しかし、本研究と関わる先行研究には、第1章で提起した問題点について考察したものは存在しなかった。

次に、第3章では、本研究の方法について述べた。本研究では第1章で提起した問題点を解明するために、3種類の調査を行った。まずは、日本語母語話者と中国語母語話者を対象に、依頼場面における「事前感謝」の自然さに関するアンケート調査を行った。次にアンケート調査で日本語による「事前感謝」に関して不自然と回答した中国語母語話者に対してその理由を尋ねるフォローアップインタビューを行った。最後に日本語母語話者を対象に事前感謝が用いられる場面を疑似体験してもらい、その後感想を述べてもらうというシミュレーション調査を行った。

続く第4章では、これらの調査結果をまとめ、第5章では、第1章で提起した3つの問題点について調査結果に基づき考察を行った。

その結果、まず「日本人同士でコミュニケーションをする時に、中国式の事前感謝表現を用いることは一切ないのだろうか」に関しては、日本語母語話者が日本語での事前感謝を「自然」と認識するケースは極めて少ないが、絶対にはないとは言えないことが明らかとなった。

次に、「場面によって日本語母語話者が感じる事前感謝に対する不自然さの程度に違いはないのだろうか」に関しては、日本語母語話者の事前感謝に対する容認度には人間関係が影響していることが明らかになった。

最後に、「中国式の事前感謝について日本に滞在する中国語母語話者はどのように考えているのだろうか」に関しては、アンケートの結果では中国語母語話者は日本語による「事前感謝」に対する容認度が総じて日本語母語話者より高かった。特に「友人関係」と「業務員と顧客の関係」において容認度が高かった。また、日本語での事前感謝に対して不自然と回答した中国語母語話者に行ったフォローアップインタビューの結果より、被調査者が日本語でのコミュニケーションにおける事前感謝に対して以下のような認識を抱いていることが明らかとなった。

1. 上位の人に対して、使いつらい

2. 職場や普段の生活の中で聞かない
3. 相手が返答する前に感謝表現を口にするのは礼儀正しくない

さらに、中国語による事前感謝については、日本語と比べると自然と思う人が多い一方、中には不自然と感じる人もいた。

本研究では、以上のことが明らかとなったが、中国に滞在する日本語母語話者が中国式の事前感謝についてどう感じているかは、まだ明らかになっていない。

この点については、今後の研究課題にする。

## 付録

表 1 日本語母語話者の設問 1～2 に対する回答

(自然：○ やや不自然：△ かなり不自然：×)

回答者 ID 番号	設問 1			設問 2		
	①	②	③	①	②	③
J1	○	○	○	△	○	○
2	○	○	×	○	○	×
3	○	△	×	○	○	△
4	○	○	×	△	○	×
5	○	△	×	△	○	×
6	○	△	×	△	○	△
7	○	△	×	○	○	△
8	○	○	×	△	○	×
9	○	△	×	△	○	×
10	○	○	×	○	○	×
11	○	△	○	○	○	△
12	○	○	×	△	○	×
13	○	△	○	○	○	△
14	○	○	×	△	○	×
15	○	○	△	○	○	△
16	○	○	×	△	○	×
17	○	△	×	△	○	×
18	○	△	△	△	○	△
19	○	△	×	○	○	×
20	○	○	△	○	○	×
21	○	○	×	○	○	×
22	○	○	△	○	○	△
23	○	△	×	△	○	×
24	○	○	△	△	○	○
25	△	○	△	△	○	△
26	○	○	×	△	○	×
27	○	○	△	○	○	△
28	△	△	○	△	○	○

2 9	○	△	○	×	○	△
3 0	○	△	×	△	○	×
3 1	○	△	×	△	○	×
3 2	○	△	×	△	○	×
3 3	○	○	×	○	○	×
3 4	○	△	×	△	○	×
3 5	○	△	×	△	○	×
3 6	○	△	×	○	△	×
3 7	△	△	○	△	○	○
3 8	○	△	×	△	○	×
3 9	○	△	×	△	○	×
4 0	○	△	○	△	○	○
4 1	○	△	×	○	○	×
4 2	○	○	×	△	○	×
4 3	○	△	×	○	○	×
4 4	○	○	△	△	○	×

表 2 日本語母語話者の設問 3～4 に対する回答

(自然:○ やや不自然:△ かなり不自然:×)

回答者 ID 番号	設問 3			設問 4		
	①	②	③	①	②	③
1	△	○	△	○	△	○
2	○	○	×	○	△	×
3	×	○	△	○	△	△
4	△	○	×	○	△	×
5	△	○	△	○	○	×
6	○	○	×	○	○	×
7	○	○	△	△	○	△
8	△	○	×	○	○	×
9	○	○	×	○	△	×
10	○	○	△	○	△	×
11	○	○	△	○	○	○
12	△	○	×	○	○	×
13	○	○	×	○	△	×
14	○	○	×	○	△	×
15	△	○	×	○	△	×
16	○	○	×	○	○	×
17	○	○	×	×	△	×
18	△	○	△	○	△	×
19	○	○	×	○	○	×
20	○	○	△	○	△	×
21	△	○	×	○	△	×
22	○	○	△	○	○	△
23	○	○	×	○	△	×
24	○	○	△	○	○	△
25	△	○	△	○	△	△
26	○	○	×	○	○	×
27	○	○	○	○	○	△
28	△	○	△	○	△	×
29	△	○	○	○	△	△
30	△	○	×	○	△	×
31	×	○	×	○	×	×
32	○	○	×	○	×	×

3 3	△	○	×	○	○	×
3 4	△	○	×	○	○	×
3 5	○	○	×	○	△	×
3 6	○	△	×	○	△	×
3 7	無回答	△	○	×	△	無回答
3 8	○	○	×	○	△	×
3 9	△	○	×	○	△	×
4 0	△	○	○	○	△	△
4 1	○	○	×	○	△	×
4 2	○	○	×	○	○	×
4 3	○	○	×	○	△	×
4 4	○	○	×	○	△	×

表3 日本語母語話者の設問5～6に対する回答

(自然:○ やや不自然:△ かなり不自然:×)

回答者 ID 番号	設問5			設問6		
	①	②	③	①	②	③
1	○	○	△	○	○	×
2	○	○	×	○	○	×
3	△	○	△	×	○	△
4	○	○	×	○	○	×
5	○	△	△	○	○	△
6	○	○	×	△	○	×
7	○	○	△	○	△	△
8	○	○	×	○	○	×
9	○	△	×	○	○	×
10	○	無回答	×	無回答	○	△
11	○	○	△	△	○	○
12	○	○	×	○	○	×
13	○	○	×	○	○	×
14	○	○	×	○	○	×
15	○	○	△	○	○	×
16	○	○	×	○	○	×
17	○	×	×	○	○	×
18	○	○	×	○	○	×
19	○	○	×	○	○	×
20	○	○	×	○	○	×
21	○	○	×	○	○	×
22	○	○	△	○	○	△
23	○	△	×	○	○	×
24	△	○	○	○	○	△
25	△	○	△	○	△	△
26	○	△	×	○	○	×
27	○	○	△	○	○	△
28	○	△	○	○	○	△
29	○	○	○	○	○	×
30	○	△	×	○	○	×
31	○	×	×	△	○	×
32	○	△	×	○	○	×

3 3	○	△	×	○	○	×
3 4	○	○	×	○	○	×
3 5	○	○	×	○	○	×
3 6	○	△	×	○	△	×
3 7	×	○	○	×	○	△
3 8	○	△	×	○	○	×
3 9	△	○	×	○	△	×
4 0	△	○	○	△	○	○
4 1	○	○	△	○	○	△
4 2	○	○	×	○	○	×
4 3	○	○	×	○	○	×
4 4	○	○	×	○	○	×

表4 日本語母語話者の設問7～8に対する回答

(自然:○ やや不自然:△ かなり不自然:×)

回答者 ID 番号	設問7			設問8		
	①	②	③	①	②	③
1	○	△	×	○	○	△
2	○	△	×	○	○	×
3	△	○	○	○	△	△
4	○	○	×	○	○	×
5	○	○	△	○	○	△
6	△	○	×	○	○	×
7	○	○	△	○	○	×
8	○	○	×	○	○	×
9	○	○	×	○	○	×
10	○	○	×	○	△	×
11	○	○	○	○	○	△
12	○	○	×	○	○	×
13	○	△	×	○	○	×
14	△	○	×	○	○	×
15	○	○	×	○	○	×
16	○	○	×	○	○	×
17	○	○	×	○	○	×
18	○	△	×	○	○	△
19	○	△	×	○	○	×
20	○	○	×	○	○	×
21	○	△	×	○	△	×
22	○	○	△	○	○	△
23	○	○	×	○	○	×
24	○	△	○	△	○	△
25	△	△	○	○	○	△
26	○	△	×	○	○	×
27	○	○	△	○	○	△
28	○	△	○	○	○	△
29	○	○	△	△	○	×
30	○	○	×	○	△	×
31	○	○	△	○	○	×
32	○	△	×	○	○	×

3 3	○	○	△	○	○	×
3 4	○	○	×	○	○	×
3 5	○	○	×	○	○	×
3 6	△	○	×	○	○	×
3 7	△	△	△	○	○	×
3 8	○	△	×	○	○	×
3 9	△	○	×	△	×	×
4 0	○	△	○	○	○	○
4 1	○	○	×	○	○	×
4 2	○	○	×	○	○	×
4 3	○	○	△	○	○	×
4 4	○	○	×	○	○	×

表5 日本語母語話者の設問9～10に対する回答

(自然:○ やや不自然:△ かなり不自然:×)

回答者 ID 番号	設問9			設問10		設問10	
	①	②	③	①	②	③	
1	○	△	×	○	△	△	
2	○	○	×	○	△	×	
3	○	○	△	○	○	△	
4	△	△	×	○	△	×	
5	○	△	×	○	△	×	
6	○	△	×	△	○	×	
7	○	○	×	○	○	△	
8	○	○	×	○	○	×	
9	○	○	×	○	○	×	
10	○	×	×	○	△	×	
11	○	○	○	○	○	○	
12	△	△	×	○	○	×	
13	○	○	×	○	○	×	
14	○	○	×	○	○	×	
15	○	○	×	○	○	×	
16	○	○	×	○	○	×	
17	○	○	×	○	△	×	
18	○	○	△	○	△	×	
19	○	○	×	○	○	×	
20	○	○	×	○	○	×	
21	○	△	×	○	×	×	
22	○	○	△	○	○	△	
23	○	○	×	○	○	×	
24	△	○	○	○	△	△	
25	○	○	×	○	△	×	
26	○	△	×	○	○	×	
27	○	○	△	○	○	△	
28	○	△	△	○	○	○	
29	○	○	×	○	○	×	
30	○	○	×	○	○	×	
31	○	○	×	○	△	×	
32	○	○	×	○	○	×	

3 3	○	○	×	○	○	×
3 4	○	○	×	○	○	×
3 5	△	○	×	○	△	×
3 6	○	○	×	○	○	×
3 7	○	○	×	○	○	×
3 8	○	○	×	○	○	×
3 9	△	○	×	△	○	×
4 0	○	○	△	○	○	○
4 1	○	○	×	○	○	×
4 2	○	○	×	○	○	×
4 3	○	○	×	○	○	×
4 4	○	○	×	○	△	×

表6 中国語母語話者の設問1～2に対する回答

(自然:○ やや不自然:△ かなり不自然:×)

回答者 ID 番号	設問1			設問2		
	①	②	③	①	②	③
1	×	△	○	○	×	△
2	○	○	×	○	○	×
3	△	○	○	△	○	△
4	○	○	○	△	○	△
5	○	○	○	○	○	△
6	△	○	×	△	○	△
7	○	○	○	○	○	○
8	○	△	○	○	○	△
9	○	△	×	△	○	×
10	△	○	×	△	○	×
11	○	○	○	○	△	×
12	○	○	△	○	○	△
13	○	△	○	△	○	△
14	×	○	○	○	△	×
15	△	△	○	△	○	○
16	△	○	○	△	○	○
17	△	○	×	△	○	×
18	○	△	△	○	○	○
19	△	○	○	○	○	○
20	△	○	○	×	△	○
21	○	△	×	△	○	×
22	○	△	×	○	△	×
23	○	△	△	○	○	△
24	×	○	△	△	○	×
25	○	△	×	○	△	×
26	△	○	○	○	△	○
27	×	○	○	△	○	△
28	△	×	○	×	○	△
29	△	○	△	○	○	△
30	○	△	△	○	○	△
31	△	○	×	△	○	○
32	△	△	△	△	○	○

3 3	○	×	×	○	△	×
3 4	○	○	×	△	○	×
3 5	△	△	△	△	△	△
3 6	○	△	×	×	○	△

表7 中国語母語話者の設問3～4に対する回答

(自然:○ やや不自然:△ かなり不自然:×)

回答者 ID 番号	設問3			設問4		
	①	②	③	①	②	③
1	△	○	×	△	○	×
2	△	○	×	○	○	×
3	×	○	○	○	○	△
4	△	○	○	○	△	×
5	△	○	○	○	△	×
6	△	○	△	△	○	○
7	×	○	○	○	△	×
8	○	○	○	△	○	△
9	△	○	×	○	△	×
10	△	○	×	○	△	×
11	○	○	×	○	△	×
12	△	○	○	○	○	○
13	×	○	○	×	△	○
14	○	○	×	×	△	×
15	△	△	○	△	○	○
16	×	△	○	△	○	○
17	△	○	×	△	○	×
18	○	○	○	△	○	○
19	○	△	○	○	△	○
20	×	△	○	×	△	○
21	△	○	×	○	△	×
22	○	△	×	△	○	×
23	○	○	○	○	△	△
24	△	○	△	○	△	△
25	○	○	×	○	△	×
26	○	△	○	○	△	○
27	△	○	△	○	○	△
28	×	○	△	○	△	○
29	○	○	△	○	○	△
30	○	○	×	○	○	×
31	△	○	○	△	○	○
32	△	○	△	○	○	△

3 3	$\Delta$	$\bigcirc$	$\bigcirc$	$\bigcirc$	$\Delta$	$\times$
3 4	$\Delta$	$\bigcirc$	$\times$	$\bigcirc$	$\Delta$	$\times$
3 5	$\Delta$	$\Delta$	$\Delta$	$\Delta$	$\Delta$	$\Delta$
3 6	$\times$	$\bigcirc$	$\Delta$	$\bigcirc$	$\Delta$	$\Delta$

表 8 中国語母語話者の設問 5～6 に対する回答

(自然：○ やや不自然：△ かなり不自然：×)

回答者 ID 番号	設問 5 ①	設問 5 ②	設問 5 ③	設問 6 ①	設問 6 ②	設問 6 ③
1	○	△	×	△	○	×
2	○	○	×	○	○	△
3	○	△	△	×	○	○
4	○	△	△	○	○	△
5	○	×	×	○	○	△
6	○	○	△	△	○	△
7	△	○	○	○	○	△
8	○	○	△	○	○	△
9	○	△	×	△	○	×
10	○	△	×	△	○	×
11	○	○	△	○	○	△
12	○	○	△	○	○	△
13	○	○	○	○	△	○
14	△	△	×	△	○	△
15	×	×	○	△	○	○
16	△	○	○	△	○	○
17	△	○	×	△	○	×
18	○	△	△	○	○	○
19	○	△	○	○	○	△
20	×	△	○	×	△	○
21	△	○	×	△	○	×
22	×	△	○	○	△	○
23	○	△	△	○	○	△
24	△	○	×	△	○	×
25	○	△	×	△	○	△
26	△	○	○	○	△	△
27	○	×	×	○	×	無回答
28	△	○	×	△	○	×
29	○	△	△	○	○	△
30	○	○	×	○	○	×
31	△	○	○	△	○	○
32	○	△	△	△	○	△

3 3	○	△	×	○	△	×
3 4	○	×	×	○	△	×
3 5	△	△	△	△	△	△
3 6	○	○	×	×	○	△

表 9 中国語母語話者の設問 7～8 に対する回答

(自然：○ やや不自然：△ かなり不自然：×)

回答者 ID 番号	設問 7			設問 8		
	①	②	③	①	②	③
1	○	△	×	△	○	×
2	△	○	△	○	○	△
3	○	△	×	○	○	○
4	○	△	○	○	△	×
5	○	○	○	○	×	×
6	△	○	△	○	○	△
7	○	○	○	○	○	○
8	○	△	○	○	○	×
9	○	△	×	○	△	×
10	○	△	×	○	△	×
11	○	○	△	○	○	×
12	○	△	○	○	○	○
13	△	○	○	○	○	○
14	○	○	○	○	○	△
15	○	○	○	△	△	○
16	△	○	○	△	○	○
17	△	○	×	△	○	×
18	△	△	△	○	○	○
19	○	○	○	○	○	△
20	×	△	○	×	△	○
21	△	○	×	○	△	×
22	△	○	○	△	○	○
23	○	○	△	○	○	△
24	△	○	△	○	△	×
25	○	△	×	○	△	×
26	△	○	△	△	○	△
27	○	○	△	○	△	×
28	○	×	△	○	△	×
29	○	○	○	○	△	△
30	○	△	×	○	○	△
31	△	○	×	△	○	×
32	○	○	△	○	△	△

3 3	○	△	×	○	△	×
3 4	○	△	×	△	○	×
3 5	△	△	○	△	△	△
3 6	○	△	×	○	△	×

表 10 中国語母語話者の設問 9～10 に対する回答

(自然：○ やや不自然：△ かなり不自然：×)

回答者 ID 番号	設問 9			設問 10		
	①	②	③	①	②	③
1	○	△	×	△	○	×
2	○	○	×	○	○	×
3	△	○	△	○	○	△
4	○	△	×	○	△	×
5	○	△	×	○	△	×
6	○	△	△	○	×	△
7	○	○	○	○	○	○
8	○	○	×	○	○	△
9	○	△	×	○	△	×
10	○	△	△	○	○	△
11	○	○	×	○	○	×
12	○	○	△	○	△	○
13	○	△	△	○	○	△
14	○	○	△	○	○	×
15	×	○	△	○	○	○
16	△	○	△	△	○	△
17	△	○	×	△	○	×
18	△	△	△	△	△	△
19	○	○	△	○	△	△
20	×	△	○	×	△	○
21	○	△	×	○	△	×
22	○	○	△	△	○	○
23	○	○	△	○	○	△
24	△	○	×	○	△	×
25	△	○	×	○	△	×
26	△	○	△	△	○	△
27	○	×	×	○	△	×
28	○	△	×	○	△	×
29	○	△	△	○	△	△
30	○	○	△	○	○	△
31	△	○	×	△	○	×
32	○	○	△	○	○	△

3 3	○	△	×	○	△	×
3 4	○	○	×	×	△	×
3 5	△	△	○	△	○	△
3 6	○	△	×	○	△	×

## 参考文献

- 市原明日香(2016a)「日本語母語話者の記述回答にみる『後日の再感』の発話行為—『解釈フレーム』と『コンテキスト化の慣習』を枠組みとして—」お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科『人間文化創成科学論叢』(19) pp. 1-9
- 市原明日香(2016b)「日本語の『後日の再感謝』ストラテジー—中国語の談話との比較から—」お茶の水女子大学日本言語文化学会『言語文化と日本語教育』(51) pp. 21-29
- 市原明日香(2019)「『後日の再感謝』の談話分析研究—日中の母語場面と接触場面の比較から—」お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科 比較社会文化学専攻 2019 年度 博士学位論文甲第 000313 号 2019-09-30
- Austin, John L. (1962) *How to do thing with words*. Oxford: Oxford University Press.
- 岡本真一郎(1991)「感謝表現の使い分けに關与する要因」愛知学院大学人間文化研究所紀要『人間文化』第(6) pp. 95-105
- 熊取谷哲夫(1991)「日本語における『感謝』の談話構造と表現配列—『すみません』と『ありがとう』の場合—」広島大学『広島大学日本語教育科学紀要』(1) pp. 61-67
- 施暉(2007)「再感謝表現についての日中比較」広島中国文学会『中國學研究論集』(19) pp. 100-108
- 住田幾子(1990)「感謝のあいさつことば—『ありがとう』と『すみません』について—」梅光女学院大学日本文学会『日本文学研究』(26), pp. 1-11
- 谷口龍子(2005)「依頼の談話に見られる中国語の感謝表現：日本語との対照」日本語用論学会『第8回大会発表論文集』pp. 181-184
- 秦秀美(2002)「日・韓における感謝の言語表現ストラテジーの一考察」『日本語教育』(114) pp. 70-79
- 張仙芝(2018)「汉语和日语中“感谢表现”的对比」金陵科技学院『金陵科技学院学报(社会科学版)』32(1) pp. 89-92
- 趙丹楠(2019)「中国語母語話者と日本語母語話者による依頼表現にみられる意味公式の対照研究」大東文化大学大学院外国語学研究科『外国語学研究』(21) pp. 21-30
- 中田智子(1989)「発話行為としての陳謝と感謝—日英比較—」日本語教育学会『日本語教育』(68) pp. 191-203
- 中道真木男・土井真美(1995)「日本語教育における依頼の扱い」『日本語学』14(10) 明治書院 pp. 84-93
- Brown, Penelope & levinson, Stephan C. (1978) *Politeness: Some universals*

*in language usage*. Cambridge: Cambridge University Press.

- 葉倩倩 (2017) 「关于中日接触场面中感谢表现的对比研究—以日语母语话者和中国人日语学习者为中心—」 湖南大学『2018 硕士论文集』 pp. 1-8
- 林賀代 (2016) 「依頼表現の異文化比較(日中) —ポライトネスの視点から中間言語を探る—」 『神戸親和女子大学大学院研究紀要 2016』 (12) pp. 63-80
- 日比野新・長友文子 (2002) 「留学生の感謝表現の調査—日本人学生と比較して—」 『和歌山大学教育学部教育実践研究指導センター紀要』 (10) pp. 139-148
- 三宅和子 (1993) 「感謝の意味で使われる詫び表現のメカニズム: Coulmas (1981) の indebtedness 『借り』 の概念から社会言語学的展開」 筑波大学留学生センター『筑波大学留学生センター日本語教育論集』 (8) pp. 28-29
- 楊雪丹 (2004) 「依頼のストラテジーの中日対照」 愛知教育大学国際教育学会『日本語教育と異文化理解』 (3) pp. 61-69
- 李華勇 (2014) 「日本語と中国語における『感謝の言語行動』の対照研究」 大阪大学言語文化研究科言語社会専攻博士 (日本語・日本文化) 学位論文甲第 17270 号 2014-09-25
- 若生久美子・神田富美子 (2000) 「中国語における依頼表現の丁寧度」 日本中国語学会『中国語学』 (247) pp. 294-310